

令和 4 年版

消 防 年 報

小野市消防本部
令和 5 年刊行

はじめに

この年報は、令和4年中における小野市消防本部の主な消防事情について収録し、今後の消防執務の参考に資するとともに、本市消防行政を広く一般に紹介し、ご理解いただく一翼になれば幸いと編集したものです。

皆様にご高覧のうえ、小野市消防行政へのご理解を賜り、基礎資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

なお、火災、救急、救助は暦年、その他の資料については、当該表に年月日を記載いたしました。

小野市消防本部

消防訓

自治体消防制度四十周年記念
昭和六十三年三月七日制定
小野市消防本部

我々消防人は

ゆたかな心たゆまぬ努力を基本として

規律を守り

心身を鍛え

教養を高め

誇りを持って使命を達成しよう

目次

□ 小野市の概要	1	□ 過去5年間の危険物施設数(完成検査済)状況	20
□ 一目統計	2	□ 手数料収入額状況	20
□ 消防機関配置図	3	□ 県委譲事務処理状況	20
□ 消防庁舎の概要	4	□ 防火防災組織の状況	21
□ 小野消防の現況	4		
□ 小野市の平均	4	消 防	
□ 小野市消防本部の組織図	5	□ 火災概要	22
□ 小野消防の推移	6～7	□ 火災状況前年比較	23

総務

□ 予算の内訳・前年度比較	8	□ 時間別・曜日別火災発生状況	26
□ 消防職員の表彰等状況	8	□ 出火原因別発生状況	27
□ 消防職員年齢別状況	9	□ 火災種別損害額の推移	28
□ 消防職員の学校教育状況	10	□ 地区別・署別火災発生状況	29
□ 消防職員の配置状況	11	□ 地区別火災発生状況全体図	30
□ 消防力の現勢	11	□ 消防水利状況	31
□ 消防職員の免許・資格所有状況	12	□ 過去10年間の降雨量	31
□ 消防施設整備事業	13	□ 消防車両一覧表	32
		□ 消防署出動状況	33
予 防		□ 小野市火災予防条例に関する届出状況	33

予 防

□ 消防用設備等設置状況	14	救 急		
□ 防火対象物の状況	15			
□ 月別・地区別建築同意状況	16		□ 救急概要	34
□ 用途・工事別建築同意状況	16		□ 救急出場件数・地区別救急概要・月別救急件数比較	34
□ 各種届出指示状況	17		□ 救急概要・搬送人員状況	35
□ 一般家庭・高齢者(独居)家庭の防火診断実施状況	17		□ 年齢・性別搬送人員比較・年齢別搬送割合	36
□ 中高層建築物等状況	17		□ 救急所要時間状況	37
□ 危険物施設状況	18		□ 事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数	38
□ 許可・完成検査・承認数状況	18		□ 急病件数に対する過去5年間の比較	38
□ 危険物規制事務処理状況	19		□ 医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・受入不可理由	38
□ 危険物施設・少量危険物施設立入検査状況	19			

救 急

□ 救急概要	34
□ 救急出場件数・地区別救急概要・月別救急件数比較	34
□ 救急概要・搬送人員状況	35
□ 年齢・性別搬送人員比較・年齢別搬送割合	36
□ 救急所要時間状況	37
□ 事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数	38
□ 急病件数に対する過去 5 年間の比較	38
□ 医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・受入不可理由	38

救 助

□ 救助概要	39
□ 救助状況前年比較	40
□ 月別救助発生状況	40
□ 時間別救助発生状況	41
□ 曜日別救助発生状況	41
□ 地区別救助発生状況	42
□ 地区別救助発生状況全体図	43

指 令

□ 消防通信系統図	44
□ 119番通報状況	45
□ 119番による口頭指導実施状況	46
□ 情報テレホンサービス利用件数	46
□ 消防無線一覧	47
□ 気象状況	48

消防団

□ 消防団組織	49
□ 消防団行事	50
□ 消防力の現況	50
□ 消防団員出動状況	51
□ 消防団員の在職年数状況	51
□ 年齢別消防団員数	52
□ 消防団員等公務災害発生状況	53
□ 消防団表彰状況	53
□ 消防自動車の現況	54

沿 革

□ 小野市消防本部の沿革	55～60
□ 消防応援協定の締結状況	61
□ 小野市統一防火標語・防火ポスター	62

小野市の概要

小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、東経134度56分、北緯34度50分の地点にあります。市の面積は93.84 k m²で、東西に11.8km、南北に11.2Kmの広がりをもつ、東と北は加東市、西は加西市、南は三木市及び加古川市にそれぞれ接しています。



小野市

小野市の大部分は平地で、西南端の一部に山地があり、市域の西よりを県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れ、左岸には河岸段丘が発達しています。臨海部に比べると内陸性であるが、瀬戸内式気候に属し、温暖で暮らしやすい気候です。

年間降水量は、平均約1,000mmで全国的にみても少ない値となっています。

小野市は、古来から加古川中流域の文化の中心部として栄え、鋏、鎌、包丁、剃刀などの家庭刃物や「播州そろばん」などの伝統工芸品を生み出してきました。この伝統技術は、時代の変遷とともに幾多の改良を重ねながら、今も伝統が息づく工匠の街としての小野の金物や木工工芸品に受け継がれています。

近年、小野市は、中国自動車道や山陽自動車道の進捗にあわせて、都市基盤の整備が一段と進むとともに、先端技術・高度組立産業の導入が図られ、伝統的特産工業と一体化した工場企業群としての工業団地が、その勇姿を現し、東播磨内陸地域における中核的都市として飛翔しようとしています。一方、小野市内には、恵まれた自然環境と貴重な数多くの文化財が残っていますが、その中で東播磨平野の一角に建てられた国宝浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上実に重要な価値を持っています。

当市消防本部は、市街地を主に管轄する本署、市南部の工業団地や山陽道を主に管轄する南分署、市北部を管轄する北分署を配置し、救急車が現場到着まで、市内全域10分以内を可能にするなど、市民サービスの充実・強化体制を構築しております。また、職員の勤務環境については、全消防署における仮眠室の個室化により性別問わず働ける環境を整備するとともに、3部制勤務体制を採用するなど、時代に即した職場環境の形成に努めています。

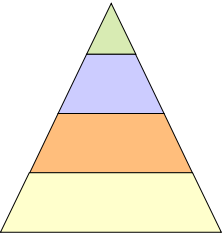


●小野市章
「小」を図案化し、ひらがなの「の」で囲ったものです。



●市花：ひまわり
ひまわりは、明るく健康的で雄大である反面、謙譲の美徳を兼ね備えており、発展していく小野市を象徴するにふさわしいものです。

一目統計

				
	令和 5 年 4 月 1 日現在	令和 5 年 4 月 1 日現在	令和 5 年度	令和 5 年 4 月 1 日現在
面 積 93.84km ²	人 口 合計 47,354人 男性 23,223人 女性 24,131人	世 帯 数 20,616世帯	予 算 21,240,000千円 【うち消防予算】 831,254千円	署 所 消防本部 1 消防署 1 分署 2
				
令和 5 年 4 月 1 日現在	令和 5 年 4 月 1 日現在	令和 5 年 4 月 1 日現在	令和 4 年中	令和 4 年中
消防車両 消防車 7 台 救急車 4 台 その他の車両 5 台	消防職員数 定 数 80人 実 員 75人 うち女性 3 人	消防団員数 定 員 700人 実 員 646人 うち女性 13人	火 災 発生件数 18件 うち建物火災 7 件 損害額 142,831 千円	救 急 発生件数 2,562件 搬送人員 2,345人 現場まで平均 約 7 分
				
令和 4 年中	令和 4 年中	令和 4 年中	令和 5 年 4 月 1 日現在	令和 5 年 3 月 31 日現在
救 助 発生件数 37件 活動件数 22件 救助人員 22人	その他の災害 発生件数 403件 [検 索 ・ 危 険 火 排 除 ・ 危 険 物 排 除 等]	消防署への通報・問合せ 119番 2,647件 病院照会 2,086件 その他 2,181件	自主防災組織数 婦人防火クラブ 1 幼年消防クラブ 6 女性消防隊 3	危険物施設数 製造所 13 貯蔵所 167 取扱所 99

消防機関配置図



消防庁舎の概要

庁 舎 名	所 在 地	開署年月日	構 造	建築面積	延面積	備考
小野市防災センター 小野市消防本部・消防署	小野市王子町 809番地	平成26年4月14日	鉄筋コンクリート造 地上3階建	1570.6㎡	3087.3㎡	女性吏員の職場環境整備済み
小野市消防署 南 分 署	小野市池尻町 628番地の161	平成4年4月1日	鉄筋コンクリート造 地上2階建	510.85㎡	696.35㎡	令和元年11月大改修 女性吏員の職場環境整備済み
小野市消防署 北 分 署	小野市古川町 1250番地	平成30年4月8日	鉄骨造 平屋建	369.02㎡	324㎡	女性吏員の職場環境整備済み

小野消防の現況

(令和5年4月1日現在)

常 備	署数	消防職員数	消防ポンプ車等	35m級はしご車	救助工作車	高規格救急車
	3	75	5	1	1	4
非 常 備	団本部	分団数	消防団員数	消防ポンプ自動車数	軽四積載車	小型動力ポンプ
	1	6	646	6	49	54

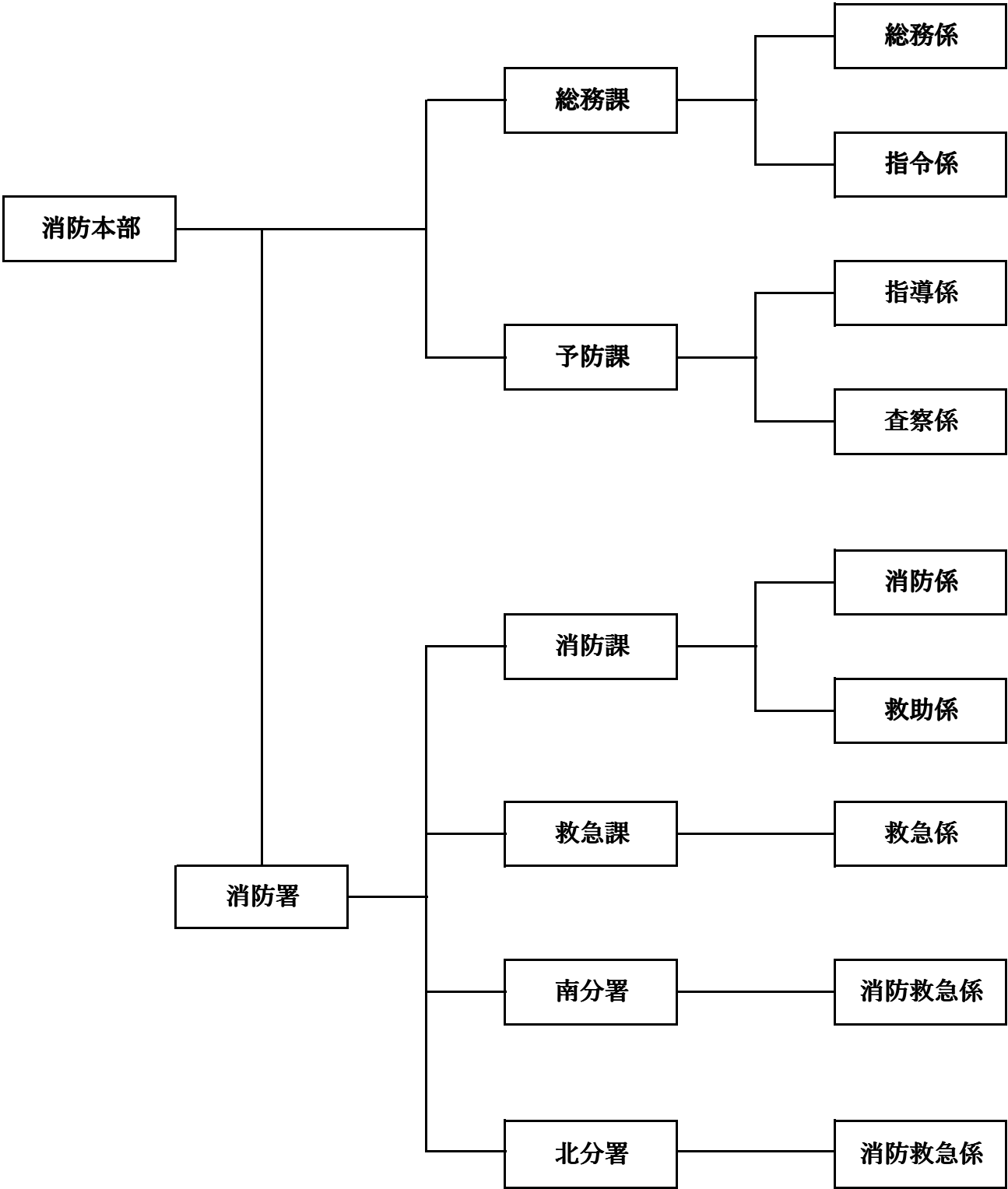
小野市の平均

(令和5年4月1日現在)

小野市の人口	47,354人	人口密度	505人／km ²
小野市の世帯数	20,616世帯	1世帯あたりの人口	2.30人
小野市の予算 (うち消防予算)	21,240,000千円 (831,254千円)	市民1人あたり (うち消防予算)	448,537円 (17,554円)
火災発生件数	18件	火災出場	20日に1件
救急発生件数	2,562件	救急出場1日あたり	7件
救急搬送人員	2,345人	救急車利用	20人に1人

小野市消防本部の組織図

令和 5 年 4 月 1 日現在



小野消防の推移

区分 年次	人 口 (人)	世 帯 数 (人)	消 防 職 員 数 (人)	消 防 団 員 数 (人)	火 災 件 数 (件)	火 災 損 害 額 (千円)	焼 死 者 数 (人)	救 急 件 数 (件)	搬 送 人 員 数 (人)	備 考
S 40	37,159	8,035	17	1,414	46	3,655		26	31	昭和40年 4 月
S 45	38,141	8,767	25	1,144	35	47,741		376	391	消防本部発足
S 50	40,494	9,870	31	1,060	25	5,647	1	730	680	
S 55	43,686	11,239	33	1,060	44	21,237		775	757	昭和41年12月
S 56	44,189	11,493	34	1,060	56	37,550	1	738	719	救急業務開始
S 57	44,562	11,643	36	1,060	55	125,784		717	718	
S 58	45,026	11,856	36	1,060	64	47,872		819	804	昭和46年 6 月
S 59	45,364	12,015	38	1,044	51	17,571		814	808	消防本部移転
S 60	45,684	12,206	39	1,044	63	136,283	1	852	861	
S 61	45,870	12,323	39	1,037	64	72,307	6	863	870	平成 4 年 4 月
S 62	45,948	12,370	39	1,037	62	241,457	3	825	837	南分署開設
S 63	45,946	12,463	41	1,030	48	64,978	1	865	873	
H 1	46,083	12,580	42	1,029	35	20,680	1	916	963	平成26年 4 月
H 2	46,244	12,750	45	1,022	42	77,376	1	958	983	防災センター開設
H 3	46,480	12,957	49	1,033	44	34,744		1,008	1,048	消防本部・消防署移転
H 4	46,885	13,298	51	1,007	31	30,588		1,049	1,084	
H 5	47,466	13,709	54	998	35	42,928	1	1,008	1,017	
H 6	47,884	14,044	56	1,004	70	22,433		1,032	1,061	平成30年 4 月
H 7	48,491	14,493	57	1,006	70	141,904	1	1,191	1,254	北分署開設
H 8	48,828	14,775	58	1,012	76	369,276	1	1,250	1,292	
H 9	49,197	15,042	59	1,020	42	51,163	1	1,283	1,335	
H10	49,533	15,377	60	874	36	30,758		1,283	1,312	
H11	49,961	15,796	60	842	42	62,609		1,225	1,240	
H12	50,309	16,100	60	845	49	59,588	1	1,370	1,429	
H13	50,383	16,223	60	853	54	76,348	1	1,364	1,435	
H14	50,441	16,441	62	848	36	128,900	1	1,421	1,456	
H15	50,601	16,712	60	842	22	2,297	1	1,453	1,486	
H16	50,653	16,919	62	840	36	73,103	1	1,570	1,599	
H17	50,562	17,111	63	807	40	30,707	3	1,702	1,696	
H18	50,463	17,407	63	831	24	140,682	1	1,734	1,724	
H19	50,415	17,624	64	848	34	30,747		1,725	1,705	
H20	50,390	17,887	64	851	31	622,862	1	1,724	1,692	
H21	50,478	18,212	64	700	21	19,579		1,754	1,678	
H22	50,540	18,460	64	694	19	8,349		1,816	1,727	
H23	50,485	18,656	64	697	29	129,487	1	1,834	1,742	
H24	50,364	18,823	64	690	21	102,297		1,902	1,811	
H25	50,162	19,028	63	697	18	6,291		1,919	1,834	
H26	49,903	19,151	65	700	22	36,228	1	2,108	1,982	
H27	49,495	19,249	66	700	14	55,817	1	2,136	1,986	
H28	49,163	19,332	67	688	20	16,075	3	2,358	2,178	
H29	49,019	19,567	68	695	22	67,501	1	2,260	2,109	
H30	48,808	19,782	70	675	21	650,448	1	2,342	2,219	

小野消防の推移

区分 年次	人 口 (人)	世 帯 数 (人)	消 防 職 員 数 (人)	消 防 団 員 数 (人)	火 災 件 数 (件)	火 災 損 害 額 (千円)	焼 死 者 数 (人)	救 急 件 数 (件)	搬 送 人 員 数 (人)	備 考
R 1	48,560	19,951	73	680	22	147,628	3	2,310	2,177	令和元年11月 南分署大改修工事
R 2	48,356	20,197	73	684	24	10,964		2,136	1,996	
R 3	47,961	20,249	73	661	16	11,697		2,214	2,070	
R 4	47,561	20,383	73	652	18	142,831		2,562	2,345	令和2年3月 2部から3部勤務体制に移行
R 5	47,354	20,616	75	646						

※ 人口・世帯数は、4月1日現在

※ 消防職員数・消防団定員数は、4月1日現在

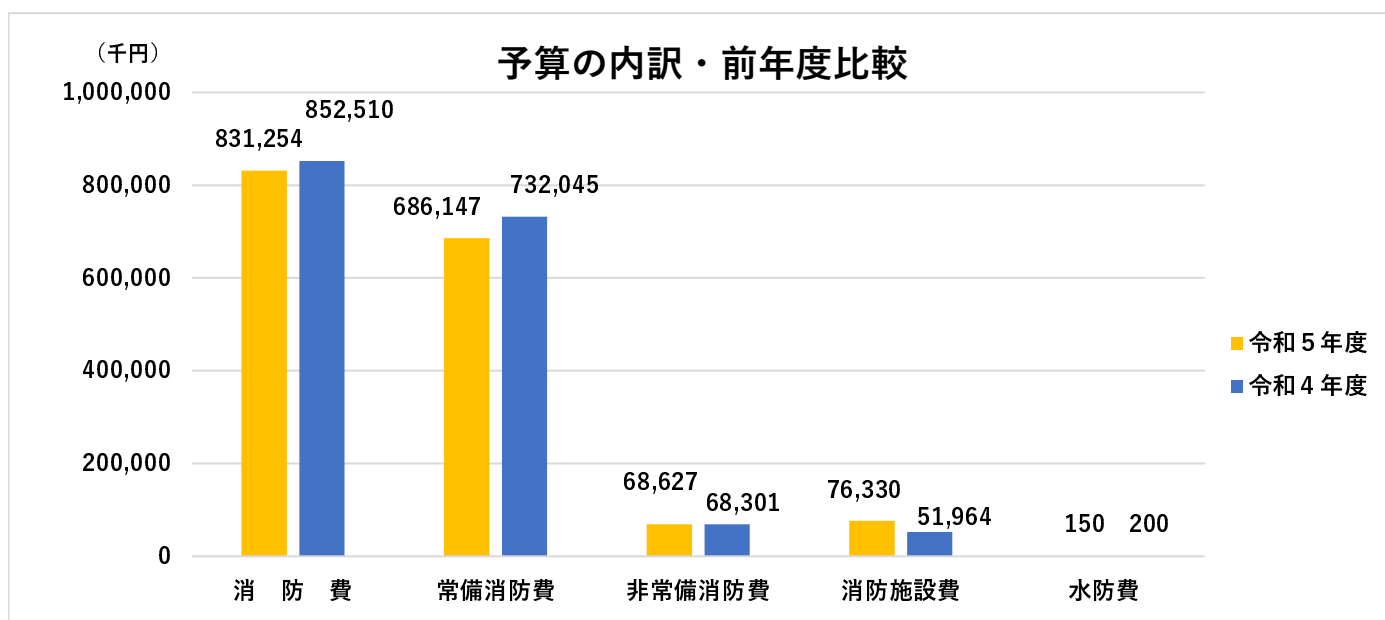
※ 火災件数・損害額・焼死者数・救急件数・搬送人員数は、1月1日から12月31日まで

総務

予算の内訳・前年度比較

(千円)

区分 \ 年度別	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比較	増減率
一般会計	21,240,000	23,000,000	△ 1,760,000	-8.3%
消 防 費	831,254	852,510	△ 21,256	-2.6%
常備消防費	686,147	732,045	△ 45,898	-6.7%
非常備消防費	68,627	68,301	326	0.5%
消防施設費	76,330	51,964	24,366	31.9%
水防費	150	200	△ 50	-33.3%
消防費比率	3.9%	3.7%	0.2%	



消防職員の表彰等状況

(人)

区分 \ 年度別	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
消防庁長官表彰	1	1	1	1	1
全国消防長会（消防特別功労）					1
全国消防長会（功労、永年勤続）	1	3	2	3	4
全国消防協会表彰（優良消防職員）				1	
県知事表彰（功労、永年勤続）	5	4	6	5	5
市長表彰（功労、永年勤続）	4	2	2	2	3
消防長表彰（功労、永年勤続）	2			1	2

消防職員年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

階級 年齢	小 計		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
		うち女性							
18歳									
19歳	1							1	
20歳	1							1	
21歳	1							1	
22歳	5							5	
23歳									
24歳									
25歳	1						1		
26歳	2					2			
27歳	3					3			
28歳	2					2			
29歳	1					1			
30歳	1					1			
31歳	1					1			
32歳	3					3			
33歳	1					1			
34歳	2	1			2				
35歳									
36歳	2	1			2				
37歳	2				2				
38歳	2				2				
39歳	2				2				
40歳	2				2				
41歳	2				2				
42歳	2				2				
43歳	1				1				
44歳	1				1				
45歳	1				1				
46歳	2				2				
47歳	1				1				
48歳	3			2	1				
49歳	3			2	1				
50歳	3			3					
51歳	3			3					
52歳	2			1	1				
53歳	2			2					
54歳	3	1		2					1
55歳									
56歳	3			3					
57歳	3			3					
58歳	1			1					
59歳	3		1	2					
60歳									
61歳	1				1				
合計人数	75	3	1	24	26	14	1	8	1
平均年齢	41.2	41.3	59.0	53.3	39.8	29.1	25.0	21.3	54.0

消防職員の学校教育状況

年度別 種別			平 成 30年度	令 和 元年度	令 和 2 年度	令 和 3 年度	令 和 4 年度	現職員 累 計	
消 防 大 学 校	総合教育	新任消防長科						0	
	専科教育	上級幹部科		1				1	
		幹部科						1	
		予防科						0	
		救助科						2	
		救急科						1	
	緊急消防援助隊教育科 航空隊コース							0	
兵 庫 県 消 防 学 校	初任教育	初任科	2	3	1	2	2	72	
	専科教育	災害現場指揮科		1		1		5	
		警防科（警防課程含む）			1		1	18	
		予防査察科（予防課程含む）		1		1		16	
		危険物科					1	9	
		火災調査科		1		1	1	18	
		救急科	救急科（標準課程含む）	1	3	1	1	1	35
			救急Ⅱ課程						25
		特殊災害科		1			1	11	
		救助科		1	2	2	2	32	
	幹部教育	初級幹部科		1		1		11	
		中級幹部科					1	5	
		上級幹部科						2	
	特別教育	はしご自動車科						9	
		潜水科	2			2		15	
		ポンプ操法講習会		2				38	
		惨事ストレス研修		1	1	1	1	15	
		実火災体験型訓練コース		10	10	9	10	38	
		山岳救助技術研修		1	2	2	2	21	
		通信指令科（通信担当者研修含む）		2				8	
	救急救命士養成課程			1	1	1	1	16	
神 戸 市 消 防 学 校	予防査察基礎課程							4	
	予防課程							1	
	救急Ⅱ課程							3	
	救助課程							5	
	警防課程							0	
	警防小隊長課程							0	
	警防指揮課程							3	
	火災調査課程							6	
	化学災害対応技術課程							1	
	機械課程				1			9	
	救急救命士養成課程							8	
救急救命士東京研修所							3		
救急救命士九州研修所追加講習							3		
玉掛・クレーン技能講習					2	3	30		

消防職員の配置状況

(令和5年4月1日現在)

階級 種別		合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
条例定数		80	階 級 別 定 員 な し						
職 員 数		75	1	24	26	14	1	8	1
消 防 本 部	消防長	1	1						
	総務課	15		7	5			2	1
	予防課	13		3	8	2			
消 防 署	署長	1		1					
	消防課	14		5	3	2	1	3	
	救急課	5		2	2	1			
	南分署	16		4	6	6			
	北分署	10		2	2	3		3	

消防力の現勢

(令和5年4月1日現在)

区 分		基 準	現 有	過 不 足	充足率
署 所 数		3	3	0	100%
車 両	消防ポンプ自動車	3	2	-1	67%
	化学消防自動車	1	1	0	100%
	高規格救急車	4	4	0	100%
	35m級先端屈折式はしご車	1	1	0	100%
	救助工作車	1	1	0	100%
	指揮広報車	1	1	0	100%
	小型動力ポンプ付積載車	—	1	—	-
	水槽車	—	1	—	-
	貨物車（資機材搬送車）	—	1	—	-
	軽四積載車	—	2	—	-
人 員	消防隊員	60	13	-47	21.7%
	救急隊員	39	22	-17	56.4%
	救助隊員	16	4	-12	25.0%
	指揮隊員	9	7	-2	77.8%
	通信員	6	6	0	100.0%
	予防要員	12	13	1	108.3%
	庶務の処理等の要員	11	8	-3	72.7%
	その他派遣	-	2	—	-
合 計		153	75	-78	49.0%

消防職員の免許・資格所有状況

(令和5年4月1日現在)

階級(人数) 種別		消防司令長 (1)	消防司令 (24)	消防司令補 (26)	消防士長 (14)	消防副士長 (1)	消防士 (8)	事務職員 (1)	合 計 (75)
自動車運転免許	大型特殊一種	1	1						2
	大型一種	1	24	24	12	1			62
	中型一種	1	24	26	7				58
	普通一種	1	24	26	14	1	8	1	75
	牽引一種		1						1
	自動二輪		15	13	3				31
危険物取扱者	甲種			1					1
	乙種1類	1	1	1					3
	乙種2類		3						3
	乙種3類	1	2	6	1				10
	乙種4類	1	15	23	13		2		54
	乙種5類		3	3					6
	乙種6類		6	10	3		1		20
	丙種	1	15	2					18
消防設備士 乙種第6類		1	3	3	1				8
消防設備士 乙種第7類			1	1					2
予防技術資格者(防火査察)		1	4	10	5				20
予防技術資格者(消防用設備等)		1	4	3	1				9
予防技術資格者(危険物)		1	6	11	2				20
救急救命士			11	17	6		2		36
指導救命士			3	1					4
救急科				12	11	1	4		28
救急標準課程			3	4					7
救急Ⅱ課程		1	21	6					28
特殊無線従事者		1	8	1					10
第1級特殊無線技士			1						1
第2級特殊無線技士			15	25	14	1	6		61
アマチュア無線技士		1	3						4
小型船舶操縦士		1	7	3		1			12
小型移動式クレーン		1	15	13	1				30
玉掛技能		1	15	13	1				30
潜水士			6	17	8	1	2		34
車両系建設機械運転技能			2	1					3
ガス溶接		1	4						5
特定化学物質等作業主任者			7						7
防災士			1	3					4
ドローン操縦技能証明書				1					1
第1種衛生管理者				1					1

消防施設整備事業

(令和4年度)

整備事業名	場所	数量	備考
防災まちづくり事業 小型動力ポンプ整備事業	昭和町 喜多町 菅田町	3	緊急防災減災事業
小型動力ポンプ積載車整備事業	菅田町 西脇町	2	市補助事業(1/2)
消火栓整備事業	久保木町	2	緊急防災減災事業

予 防

消防用設備等設置状況

(令和5年3月31日現在)

区分 用途別			消 火 設 備					警 報 設 備				避難設備		排煙設備	連結散水設備	連結送水管	消 防 用 電 源	
			消火器	屋内消火栓	スプリンクラー	水噴霧消火設備	屋外消火栓	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災通報設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯			専用電	自家発電
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2			1		2			2	2				2	2
	ロ	公会堂又は集会場	11	3					10			8	10					3
2 項	イ	キャバレー、カフェー等																
	ロ	遊技場又はダンスホール	2						2			2	2					
	ハ	性風俗店等																
	ニ	カラオケボックス等	1						1			1	1					
3 項	イ	待合、料理店等																
	ロ	飲食店	70						5			17	2	33				
4 項		百貨店、マーケット、店舗	71	9	1	1	1		31			23		59	1		1	7
5 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	8	2					8	1	5	1	2	8			1	2
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	299	4		1			50	10		35	40	10			5	3
6 項	イ	病院、診療所又は助産所	33	1	5	1			18	1	11	8	2	33			1	5
	ロ	老人福祉施設等	23	4	23				23		23	8	2	23			2	12
	ハ	老人デイサービスセンター等	39	1					24	1	4	2	3	30				
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	5	1					4			1		2			1	1
7 項		小、中、高校、大学、各種学校	48	28					42			30	4	14			2	
8 項		図書館、博物館、美術館	3	2					2	1								2
9 項	イ	公衆蒸気浴場等																
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1					1			2		2				1
10 項		停車場等																
11 項		神社、寺院、教会等	13						1			2		1				
12 項	イ	工場又は作業場	627	122		8	31		255			12	1	82			2	9
	ロ	映画スタジオ等																
13 項	イ	車庫又は駐車場	49			7			4									
	ロ	飛行機格納庫																
14 項		倉 庫	432	50	1	3	15		133					51			1	2
15 項		その他の事業場	182	24		10	1		59			32	5	50		1	1	5
16 項	イ	複合用途（特 定）	105	2	1				40		2	15	10	61			1	2
	ロ	複合用途（非特定）	66	2	1		1		9			9	4	6			1	1
16 項の2		地下街																
16 項の3		準地下街																
17 項		重要文化財等の建築物	2						2									
18 項		アーケード																
合 計			2,093	258	32	31	50	0	726	14	45	210	75	480	1	1	18	54

防火対象物の状況

(令和5月3月31日現在)

用途別 区分			防 火 対 象 物 の 総 数	防火管理者						消防用設備		検査実施数	
				甲 種			乙 種			点 検 対 象 物 数	報 告 済 対 象 物 数	予 防 査 察	設 置 検 査
				要 選 任 対 象 物 数	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 数	要 選 任 対 象 物 数	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 済 数				
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2	2	2				2	2		
	ロ	公会堂又は集会場	11	9	9	9				11	9		
2 項	イ	キャバレー、カフェー等											
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2	2	2				2	2		
	ハ	性風俗店等											
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1				1	1		
3 項	イ	待合、料理店等											
	ロ	飲食店	70	4	4	4	24	22	19	70	9	5	2
4 項		百貨店、マーケット、店舗	71	26	26	26	23	21	18	71	50	5	3
5 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	8	4	4	4				8	3	3	2
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	299	35	35	25				299	127	7	6
6 項	イ	病院、診療所又は助産所	33	14	14	14	1	1	1	33	23	7	4
	ロ	老人短期入所施設等	23	19	19	19				23	22	23	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	39	17	17	17	3	3	3	39	31	4	2
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	5	3	3	3				5	5	1	
7 項		小、中、高校、大学、各種学校	48	15	15	15	2	2	2	48	48	2	2
8 項		図書館、博物館、美術館	3	2	2	2				3	3		
9 項	イ	公衆蒸気浴場等											
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1	1	1				2	1	1	
10 項		停車場等											
11 項		神社、寺院、教会等	13	2	2	2				13	3		
12 項	イ	工場又は作業場	627	54	53	46				627	303	15	14
	ロ	映画スタジオ等											
13 項	イ	車庫又は駐車場	49							49	30		
	ロ	飛行機格納庫											
14 項		倉 庫	432	5	5	4				432	213	9	6
15 項		その他の事業場	182	33	30	30	3	2	2	182	106	6	5
16 項	イ	複合用途（特 定）	105	25	25	23	10	10	9	105	44	15	2
	ロ	複合用途（非特定）	66	7	7	5	4	4	3	66	17	1	1
16 項の2		地下街											
16 項の3		準地下街											
17 項		重要文化財等の建築物	2	1	1					2	2		
18 項		アーケード											
合 計			2,093	281	277	254	70	65	57	2,093	1,054	104	51

月別・地区別建築同意状況

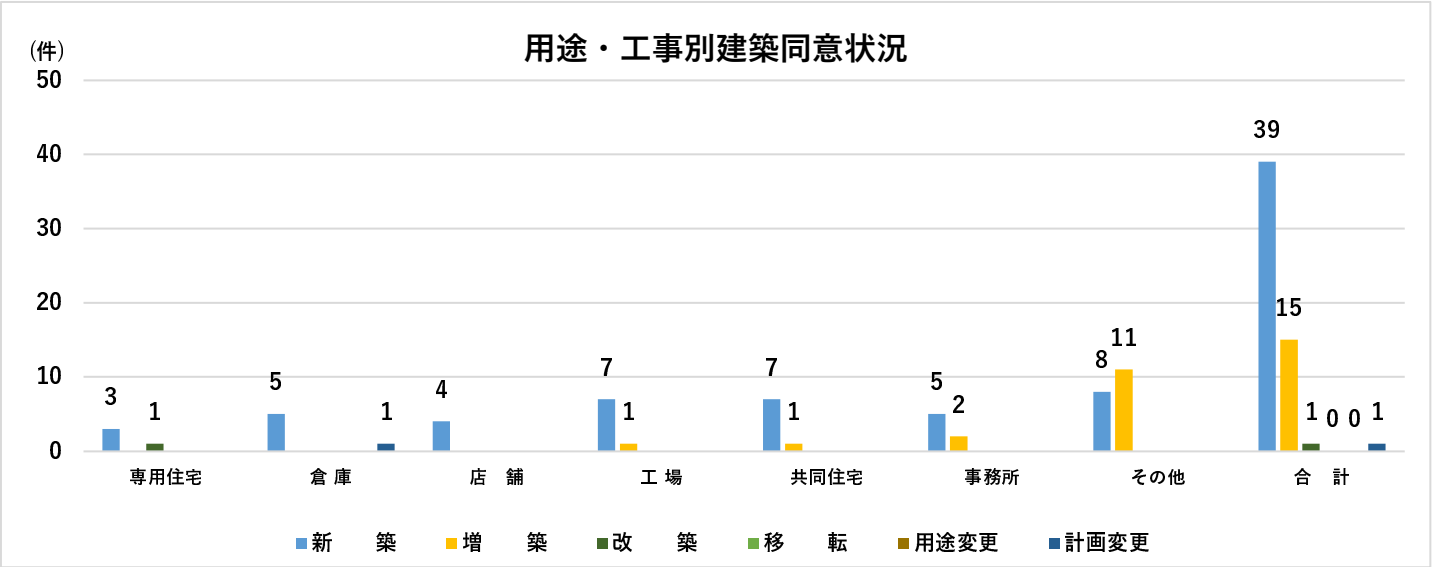
(令和4年度)

地区別 月別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合 計
4 月	1		1	1		1	4
5 月	2				2		4
6 月	1			1		1	3
7 月	1	1				1	3
8 月	1					5	6
9 月				1		1	2
10月	2					3	5
11月		1			1	1	3
12月	3			1	1	2	7
1 月	1	2			1		4
2 月	3	2				1	6
3 月	4			1	2	2	9
合 計	19	6	1	5	7	18	56

用途・工事別建築同意状況

(令和4年度)

用途別 工事別	専用住宅	倉 庫	店 舗	工 場	共同住宅	事務所	その他	合 計
新 築	3	5	4	7	7	5	8	39
増 築				1	1	2	11	15
改 築	1							1
移 転								0
用途変更								0
計画変更		1						1
合 計	4	6	4	8	8	7	19	56



各種届出指示状況

(令和4年度)

内 容	計	総 計
防火管理者選任（解任）届	72	1,342
消防計画作成（変更）届	113	
消防訓練計画届	222	
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	208	
工事整備対象設備等着工届・工事計画届	82	
防火対象物使用開始届	65	
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	556	
発電・変電・蓄電池設備届	24	
指示書による指示件数		24
甲種防火管理新規講習課程修了証		46
乙種防火管理講習課程修了証		0
甲種防火管理再講習課程修了証		0

一般家庭・高齢者（独居）家庭の防火診断実施状況

(令和5年3月31日現在)

区分 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合計
一般家庭実施件数							0
累 計	692	757	273	697	249	364	3,032
高齢者（独居）家庭実施件数			20			6	26
累 計	649	366	312	274	219	363	2,183
総診断数	1,341	1,123	585	971	468	727	5,215

中高層建築物等状況

(令和5年3月31日現在)

階 数	地階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階	合計
棟 数	44	225	58	37	5	5	0	2	2	378

危険物施設状況

(令和5年3月31日現在)

製造所等の区分 指定数量別		5 倍 以下	5 倍 を 超 え 10 倍 以下	10 倍 を 超 え 50 倍 以下	50 倍 を 超 え 100 倍 以下	100 倍 を 超 え 150 倍 以下	150 倍 を 超 え 200 倍 以下	200 倍 を 超 え 1000 倍 以下	1000 倍 を 超 える	計
製 造 所		2	4	1	5			1		13
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	19	11	14	3	5	2	3	3	60
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	6	7	21	4	1		2		41
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	1						3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	15	9	11	1					36
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	12	2	1	2					17
	屋 外 貯 蔵 所	2	3	5						10
取 扱 所	給 油 取 扱 所	9	2	14	3	3	3	7		41
	第 1 種 販 売 取 扱 所									0
	第 2 種 販 売 取 扱 所									0
	移 送 取 扱 所									0
	一 般 取 扱 所	28	16	11	2			1		58
計		94	55	79	20	9	5	14	3	279

許可・完成検査・承認数状況

(令和4年度)

製造所等の区分 許可等の区分		許 可		完成検査		タンク 検 査	廃止及び 転 出
		設 置	変 更	設 置	変 更		
製 造 所			8		8		
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2		3	1		
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		5	1	5		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所						
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所						
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所						
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		1		1		2
	屋 外 貯 蔵 所	1		1			
取 扱 所	給 油 取 扱 所		5		4		1
	第 1 種 販 売 取 扱 所						
	第 2 種 販 売 取 扱 所						
	移 送 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所		6	2	7		1
上 記 施 設 以 外						2	
計		3	25	7	26	2	4

仮 使 用 承 認 数	仮貯蔵・仮取扱承認数	合 計
24	0	24

危険物規制事務処理状況

(令和4年度)

申 請 ・ 届 出 ・ 報 告 等 項 目	件 数
予防規程制定・変更認可申請	16
危険物製造所等軽微変更届	109
危険物製造所等譲渡引渡届	1
危険物製造所等危険物品名・数量変更届	4
危険物製造所等廃止届	3
危険物製造所等休止届	1
危険物製造所等危険作業届	5
危険物製造所等定期点検結果報告	118
危険物施設保安員選任届	0
危険物保安監督者選任解任届	31
危険物取扱作業従事者届	106
危険物製造所等消防設備関係届	16
少量危険物貯蔵取扱い届	10
少量危険物廃止届	4
指定可燃物貯蔵取扱い届	11
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等貯蔵取扱い届	12
炉・かまど・ボイラー等設置届	85
改善計画書	23
その他	25
合 計	580

危険物施設立入検査状況

(令和4年度)

製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所 タ ン ク	屋 内 貯 蔵 所 タ ン ク	地 下 貯 蔵 所 タ ン ク	簡 易 貯 蔵 所 タ ン ク	移 動 貯 蔵 所 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
0	0	0	0	0	0	24	0	24	32	1	33	57

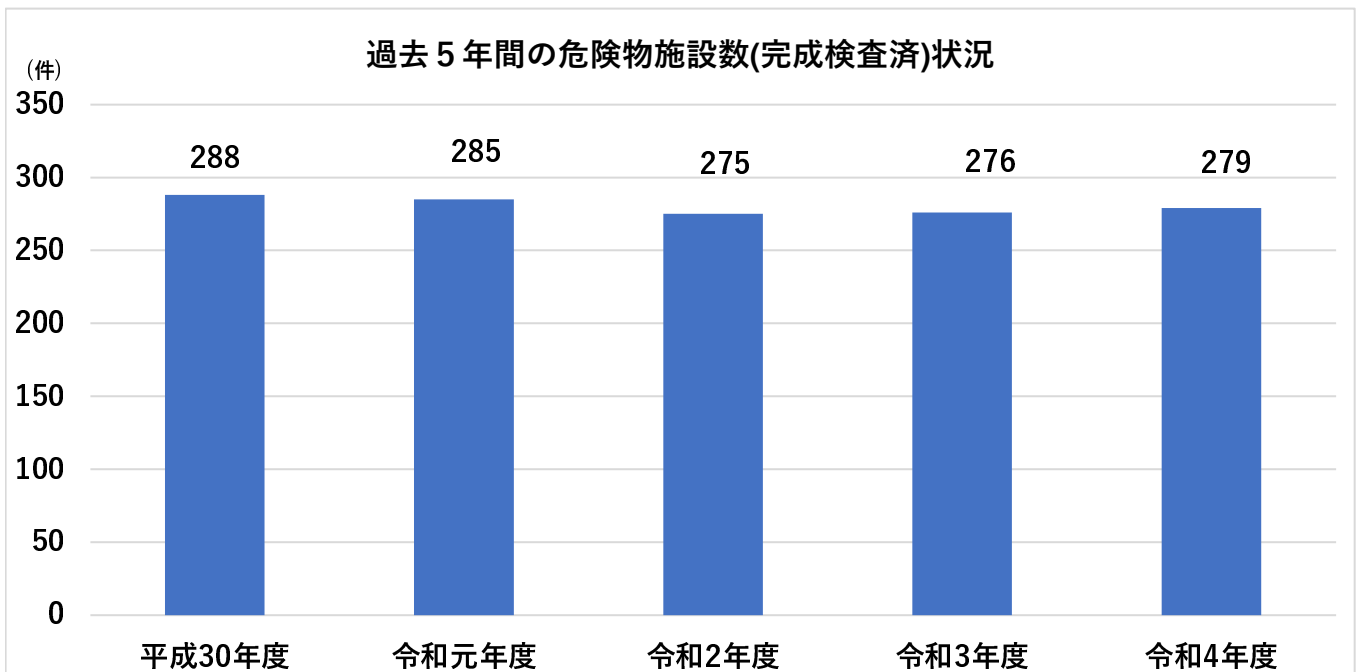
少量危険物施設立入検査状況

(令和4年度)

少量危険物施設（少量危険物移動タンク含む）	27
-----------------------	----

過去 5 年間の危険物施設数(完成検査済)状況

年度別	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
件 数	288	285	275	276	279



手数料収入額状況

(令和 4 年度)
(千円)

許可手数料		完成検査 手数料	タンク検査 手数料		仮使用 手数料	仮貯蔵 仮取扱 手数料	合 計
設 置	変 更		水 張	圧 力			
53	600	412	22	0	130	0	1,217

県委譲事務処理状況

(令和 4 年度)

液化石油ガス関係		高圧ガス関係		火薬類関係	
設備工事届	立入検査	立入検査	行政措置	立入検査	行政措置
2	2	0	0	0	0

防火防災組織の状況

(令和5年4月1日現在)

団 体 名		人 員	結成年月日	活 動 状 況
小野市幼年婦人防火委員会 (会長 藤原 靖)		6	昭 和 60 年 4 月 1 日	・ 防火防災組織の育成指導
婦 人 防 火 ク ラ ブ	小野市婦人防火クラブ		昭 和 60 年 4 月 1 日	・ 防火街頭宣伝活動 ・ 家庭防火診断の推進 ・ その他の防火広報活動
幼 年 消 防 ク ラ ブ	北辰保育園幼年消防クラブ	110	昭 和 60 年 7 月 1 日	・ 避難訓練の実施 ・ 防火教室の開催 ・ 防火絵画展開催 ・ 消防大会への参加
	来住保育所幼年消防クラブ	118	昭 和 60 年 12 月 1 日	
	小野保育所幼年消防クラブ	201	昭 和 61 年 2 月 1 日	
	下東条西保育所幼年消防クラブ	106	昭 和 62 年 11 月 1 日	
	育ヶ丘保育園幼年消防クラブ	104	昭 和 63 年 7 月 1 日	
	粟生こども園幼年消防クラブ	113	平 成 10 年 2 月 28 日	
女 性 消 防 隊	育ヶ丘女性消防隊	29	昭 和 54 年 4 月 1 日	・ 消防機器の点検・訓練 ・ 防火広報活動の実施 ・ 初期消火活動 ・ 防火・救急教室の開催 ・ 自衛消防競技会への参加 ・ 消防大会への参加
	高山町女性消防隊	5	昭 和 60 年 4 月 1 日	
	小野ニュータウン女性消防隊	15	平 成 4 年 9 月 1 日	
そ の 他	小野市防火協会	237	昭 和 48 年 4 月 1 日	・ 防火広報誌の発行 ・ 各種防火広報活動 ・ 各種防火研修会の開催
	小野匠工業会防災連絡委員会	37	平 成 6 年 4 月 1 日	・ 消火、防火訓練の実施 ・ 防火、救急講習会の実施 ・ 防火広報活動の実施 ・ 自衛消防競技会への参加

消 防

火災概要

1 火災件数と火災種別

令和4年中の火災件数は18件（対前年比2件増）となっています。

火災種別でみると、最も多く発生しているのが、その他火災が9件（50%）、次に建物火災が7件（約39%）となっています。

2 建物火災焼損程度

7件の建物火災で焼損のあった棟は11棟あり焼損程度別でみると全焼が5棟、半焼が0棟、部分焼1棟、ぼや5棟となっています。

3 出火原因

出火原因は多いものから、「火入れ（焼却行為）」による火災が7件（約39%）、次いで「かまど」、「こんろ」、「溶接機・切断機」、「電気装置」、「電気機器」、「たばこ」、「マッチ・ライター」、「その他」による火災が各1件（約6%）発生しています。なお、「不明・調査中」が3件（約17%）となっています。

4 火災による死傷者

令和4年中の火災による死傷者数は、負傷者が3名発生しましたが、死者は発生していません（前年死者0名、負傷者1名）。

5 焼損面積

焼損面積を種別でみると、建物焼損床面積が1,586㎡（前年372㎡）、建物焼損表面積5㎡（同0㎡）となっています。林野焼損面積は、3a（同48a）となっています。

6 火災損害状況

令和4年中の火災による総損害額は142,831千円（対前年比131,134千円増）となっています。

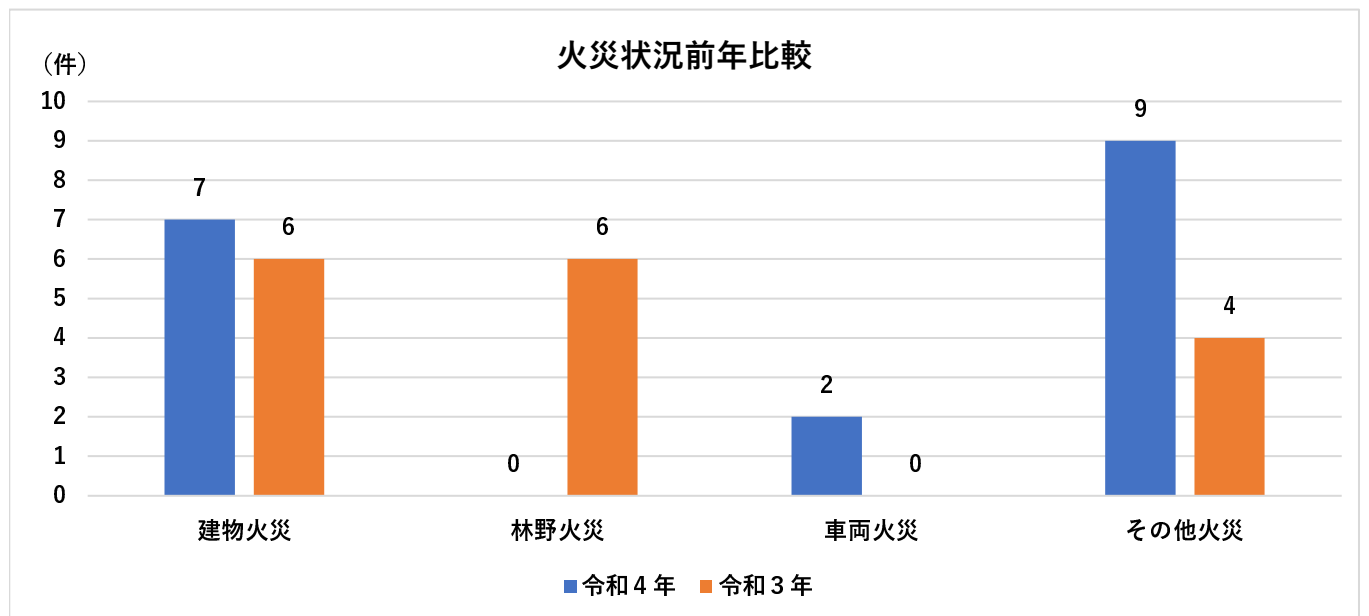
火災種別でみると、建物火災が128,148千円（対前年比116,594千円増）、車両火災が14,645千円（同14,645千円増）、その他火災が38千円（同105千円減）となっています。

7 地区別火災発生状況

火災件数を地区別でみると、小野地区が最多の9件、次いで下東条地区が3件、大部地区、市場地区がそれぞれ2件、来住地区、河合地区がそれぞれ1件発生しています。

火災状況前年比較

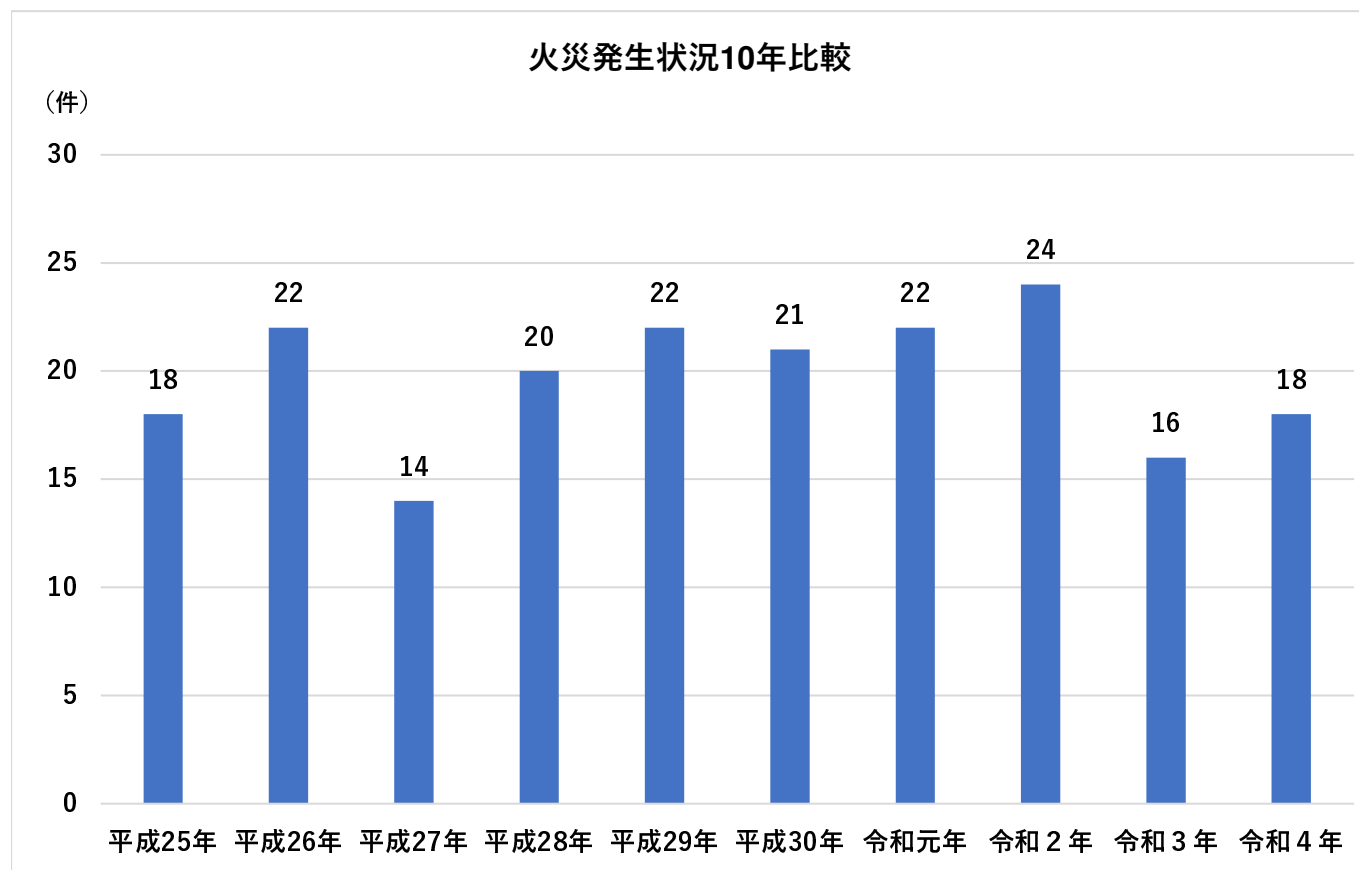
区分		令和4年					令和3年					前年比較				
		本 署	南分署	北分署	合 計		本 署	南分署	北分署	合 計		本 署	南分署	北分署	合 計	
火災件数 (件)	合 計	2	8	8	18		3	9	4	16		-1	-1	4	2	
	建物火災	2	2	3	7		3	2	1	6		-1	0	2	1	
	林野火災	0	0	0	0		0	5	1	6		0	-5	-1	-6	
	車両火災	0	2	0	2		0	0	0	0		0	2	0	2	
	その他火災	0	4	5	9		0	2	2	4		0	2	3	5	
損害額 (千円)	合 計	6,015	22,859	113,957	142,831		7,348	4,314	35	11,697		-1,333	18,545	113,922	131,134	
	建物火災	6,015	8,209	113,924	128,148		7,348	4,171	35	11,554		-1,333	4,038	113,889	116,594	
	林野火災	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	
	車両火災	0	14,645	0	14,645		0	0	0	0		0	14,645	0	14,645	
	その他火災	0	5	33	38		0	143	0	143		0	-138	33	-105	
焼損面積	建物	焼損合計 (㎡)	218	417	956	1,591	210	120	42	372		8	297	914	1,219	
		焼損床面積 (㎡)	218	416	952	1,586	210	120	42	372		8	296	910	1,214	
	物	焼損表面積 (㎡)	0	1	4	5	0	0	0	0		0	1	4	5	
	林 野 (a)		0	0	3	3	0	46	2	48		0	-46	1	-45	
焼損棟数 (棟)		2	2	7	11		3	3	1	7		-1	-1	6	4	
り災世帯数 (世帯)		1	1	5	7		2	0	0	2		-1	1	5	5	
り災人員 (人)		4	4	13	21		6	0	0	6		-2	4	13	15	
焼損車両数 (台)		0	2	3	5		0	0	0	0		0	2	3	5	
負傷者 (人)		0	0	3	3		0	0	1	1		0	0	2	2	
死 者 (人)		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	
出動人員	合 計 (人)	70	153	210	433		58	203	52	313		12	-50	158	120	
	消防職員 (人)	44	108	131	283		50	112	37	199		-6	-4	94	84	
	消防団員 (人)	26	45	79	150		8	91	15	114		18	-46	64	36	



火災発生状況10年比較

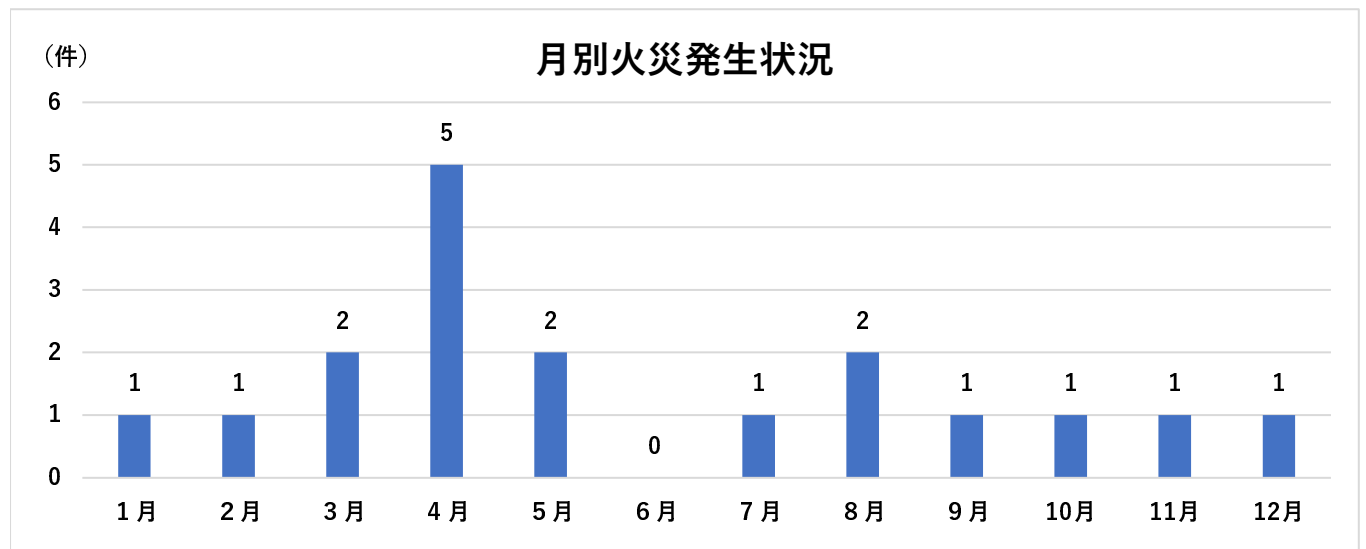
(件)

種別 年別	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成25年	9	3	3	3	18
平成26年	12	1	4	5	22
平成27年	10	1	0	3	14
平成28年	11	2	3	4	20
平成29年	10	3	1	8	22
平成30年	11	3	1	6	21
令和元年	9	3	1	9	22
令和 2 年	10	2	4	8	24
令和 3 年	6	6	0	4	16
令和 4 年	7	0	2	9	18



月別火災発生状況

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災 件数 (件)	合 計	1	1	2	5	2	0	1	2	1	1	1	1	18
	建物火災				2	1			2	1			1	7
	林野火災													0
	車両火災				1			1						2
	その他火災	1	1	2	2	1					1	1		9
損 害 額 (千円)	合 計	0	32	0	65,701	50,468	0	12,405	6,015	23	1	0	8,186	142,831
	建物火災				63,461	50,463			6,015	23			8,186	128,148
	林野火災													0
	車両火災				2,240			12,405						14,645
	その他火災		32			5					1			38
焼 損 面 積	建 焼損合計 (㎡)	0	0	0	427	529	0	0	218	1	0	0	416	1,591
	物 焼損床面積 (㎡)				423	529			218				416	1,586
	林 野 焼損表面積 (㎡)				4					1				5
	林 野 (a)				3									3
焼損棟数 (棟)					5	2			2	1			1	11
り災世帯数 (世帯)					2	3			1	1				7
り災人員 (人)					7	6			4	4				21
焼損車両数 (台)					4			1						5
負傷者 (人)					1	1					1			3
死 者 (人)														0
出 動 人 員	合 計 (人)	40	9	37	119	95	0	11	70	15	3	7	27	433
	消防職員 (人)	18	9	22	97	42		11	44	12	3	7	18	283
	消防団員 (人)	22		15	22	53			26	3			9	150



時間別火災発生状況

(件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
													建物	林野	車両	その他	
0時～1時																	0
1時～2時																	0
2時～3時																	0
3時～4時																	0
4時～5時																	0
5時～6時																	0
6時～7時				1			1						1		1		2
7時～8時																	0
8時～9時				1											1		1
9時～10時										1						1	1
10時～11時																	0
11時～12時			1	1									1			1	2
12時～13時																	0
13時～14時				1												1	1
14時～15時		1		1	1			1					2			2	4
15時～16時			1		1			1					1			2	3
16時～17時											1					1	1
17時～18時																	0
18時～19時																	0
19時～20時	1								1				1			1	2
20時～21時																	0
21時～22時												1	1				1
22時～23時																	0
23時～24時																	0
不 明																	0
合 計	1	1	2	5	2	0	1	2	1	1	1	1	7	0	2	9	18

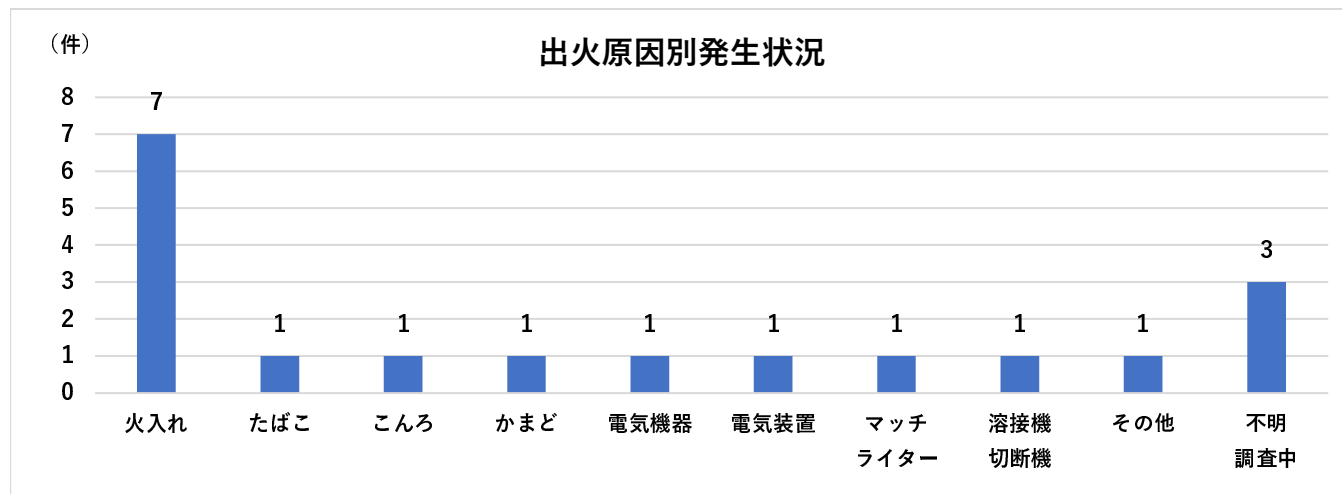
曜日別火災発生状況

(件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
													建物	林野	車両	その他	
日曜日	1	1	1				1								1	3	4
月曜日				2												2	2
火曜日												1	1				1
水曜日				1				1	1				3				3
木曜日				1	2								1		1	1	3
金曜日			1													1	1
土曜日				1				1		1	1		2			2	4
不明																	0
合 計	1	1	2	5	2	0	1	2	1	1	1	1	7	0	2	9	18

出火原因別発生状況

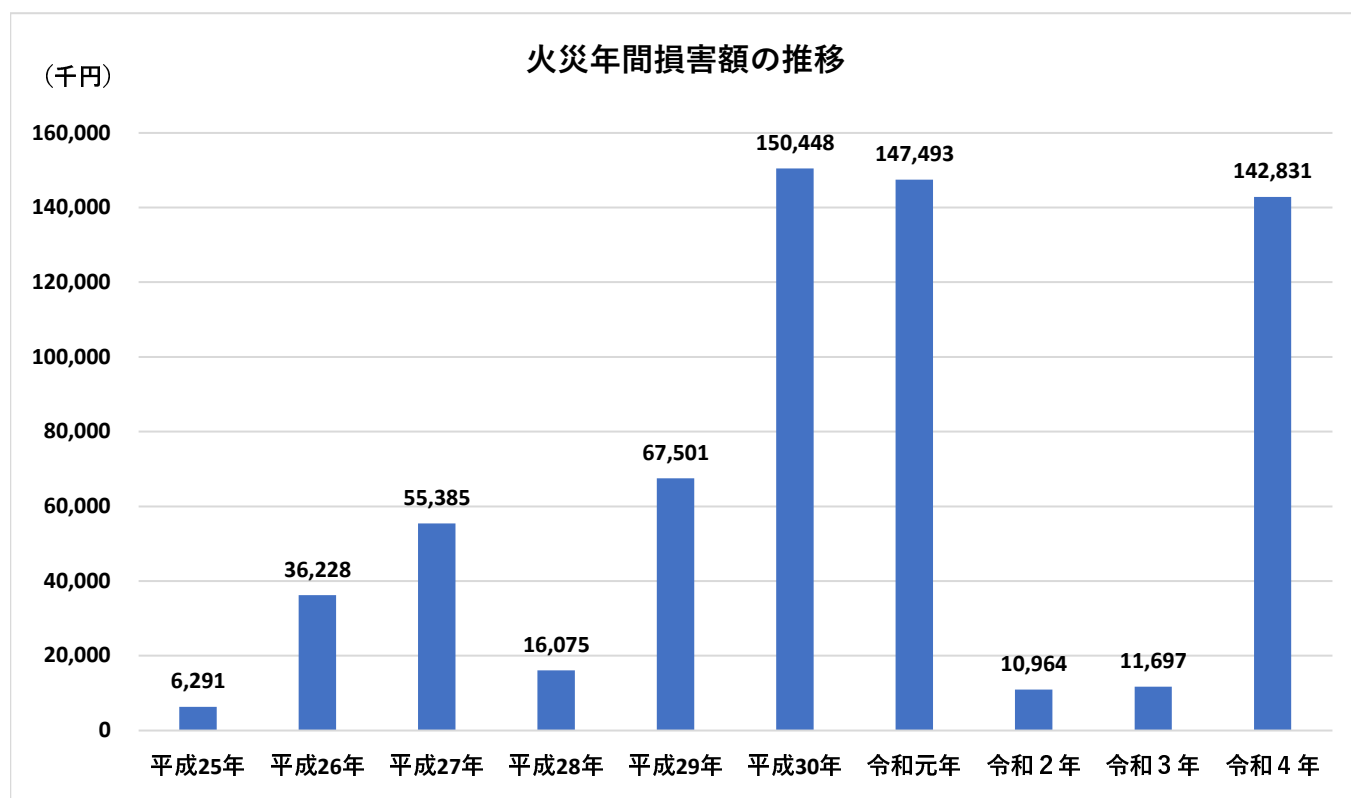
区分 原因	火災件数（件）					損害額 （千円）	焼損面積			負傷者 （人）	死者 （人）
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 床面積 （㎡）	建物 表面積 （㎡）	林 野 （a）		
たばこ	1	1				23		1			
こんろ	1	1				63,426	423	1		1	
かまど	1				1						
風呂かまど											
炉											
焼却炉											
ストーブ											
こたつ											
ボイラー											
煙突・煙道											
排気管											
電気機器	1	1				5,910	218				
電気装置	1	1				105					
電灯・電話等の配線											
交通機関内配線											
内燃機関											
配線器具											
火あそび											
マッチ・ライター	1				1	1				1	
たき火											
溶接機・切断機	1			1		2,240					
灯火											
衝突の火花											
取灰											
火入れ	7	1			6	72		3	3		
放火											
放火の疑い											
その他	1			1		12,405					
不明・調査中	3	2			1	58,649	945			1	
合 計	18	7	0	2	9	142,831	1,586	5	3	3	0



火災種別損害額の推移

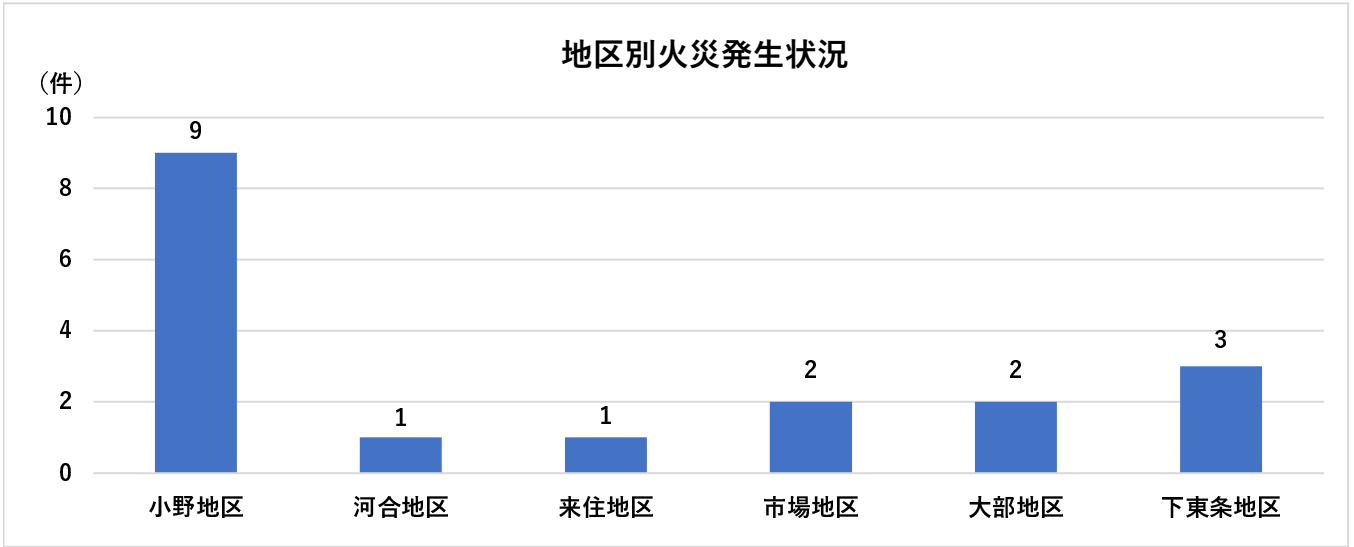
(千円)

種別 年別	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成25年	5,788	0	503	0	6,291
平成26年	35,976	0	211	41	36,228
平成27年	55,385	0	0	0	55,385
平成28年	15,251	0	810	14	16,075
平成29年	67,087	0	348	66	67,501
平成30年	150,308	0	138	2	150,448
令和元年	146,722	0	759	12	147,493
令和 2 年	8,965	0	1,852	147	10,964
令和 3 年	11,554	0	0	143	11,697
令和 4 年	128,148	0	14,645	38	142,831



地区別火災発生状況

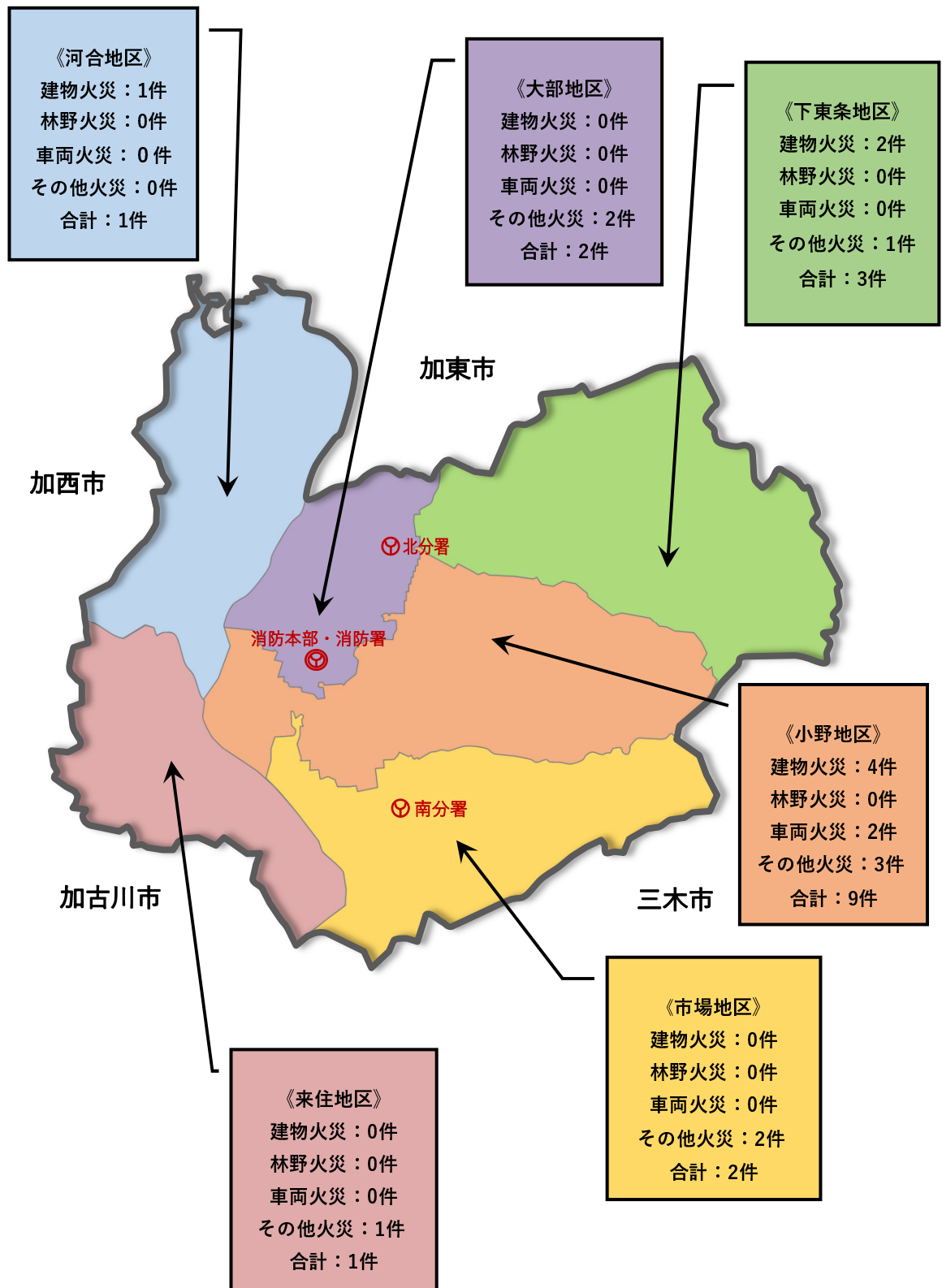
種別 \ 地区別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	合 計
建物火災（件）	4	1				2	7
損害額（千円）	14,224	50,463				63,461	128,148
林野火災（件）							0
損害額（千円）							0
車両火災（件）	2						2
損害額（千円）	14,645						14,645
その他火災（件）	3		1	2	2	1	9
損害額（千円）	32			5	1		38
火災件数合計（件）	9	1	1	2	2	3	18
損害額合計（千円）	28,901	50,463	0	5	1	63,461	142,831



署別火災発生状況

		(件)		
年別 \ 署別	本署	南分署	北分署	合計
平成30年	5	11	5	21
令和元年	6	7	9	22
令和 2 年	5	11	8	24
令和 3 年	3	9	4	16
令和 4 年	2	8	8	18

地区別火災発生状況全体図



消防水利状況

(基準水利)

(令和5年3月31日現在)

防火水槽	消火栓	合計
518	1,359	1,877

過去10年間の降雨量

(mm)

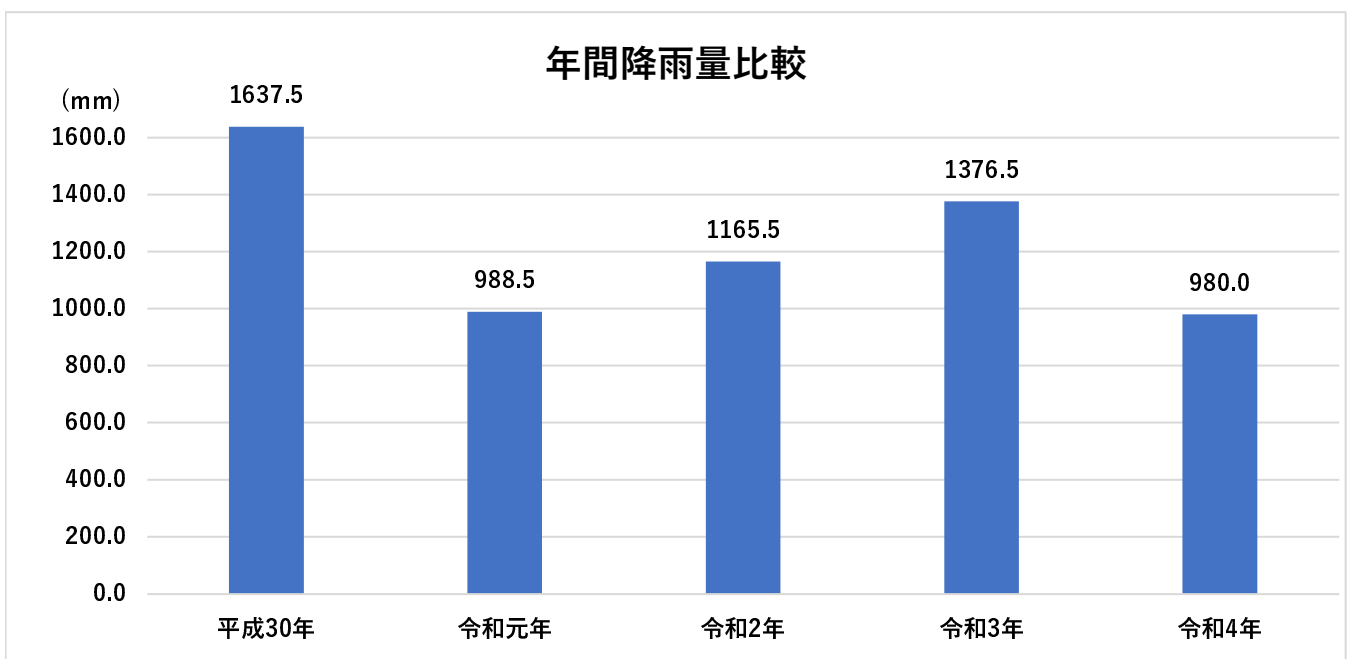
月別 年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	年間平均
平成25年	40.0	63.0	43.5	68.5	50.5	185.0	99.5	158.5	365.5	170.0	64.0	79.0	1,387.0	115.6
平成26年	28.5	40.0	135.5	74.8	79.0	61.0	73.0	306.5	48.0	190.0	60.0	76.5	1,172.8	97.7
平成27年	97.5	22.0	123.5	107.5	85.0	156.0	335.5	193.5	172.0	46.5	139.0	123.5	1,601.5	133.5
平成28年	46.5	72.0	71.5	160.5	108.5	257.5	102.5	86.0	357.0	53.5	68.5	88.0	1,472.0	122.7
平成29年	27.0	37.5	38.0	125.0	57.5	146.0	75.0	75.0	142.5	399.0	32.0	28.0	1,182.5	98.5
平成30年	39.0	32.0	180.5	92.5	169.5	168.0	366.5	125.5	332.0	54.0	9.5	68.5	1,637.5	136.5
令和元年	18.5	43.5	79.0	116.0	71.0	129.0	104.0	161.5	49.5	159.5	11.5	45.5	988.5	82.4
令和2年	46.0	48.5	85.0	148.0	65.0	208.0	301.5	0.0	123.5	90.5	35.5	14.0	1,165.5	97.1
令和3年	52.0	42.0	95.0	112.5	166.5	137.5	208.5	253.0	152.5	44.0	79.0	34.0	1,376.5	114.7
令和4年	10.5	14.0	93.5	117.0	71.5	71.5	164.5	131.0	104.5	90.0	97.5	14.5	980.0	81.7



は各年の最低降雨月を示



は各年の最高降雨月を示



消防車両一覧表

(令和5年3月31日現在)

種 別		車 名	型 式	年式	排気量 (ℓ)	出力 (PS)	総重量 (Kg)	ポンプ 性 能	消防無線 (呼出名称)	購入年月日
消 防 本 部 (消 防 署)	化学車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H29	6.40	220	11,370	A-2 級	おのしょう 1	平成29年 3 月
	水槽車	日野	QDG-FR1APEA	H28	8.86	380	21,905	A-2 級	おのしょう31	平成28年 9 月
	救助工作車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H27	6.40	220	11,290		おのしょう 5	平成27年 2 月
	先端屈折式 はしご付消防自動車	日野	QDG-PR1APEF	H28	8.86	380	20,000		おのしょう 4	平成28年 4 月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H29	2.69	151	3,195		おのしょう90	平成29年 3 月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H22	2.69	151	3,205		おのしょう92	平成22年 2 月
	ポンプ 積載車	日産	PKG-SZ5F24	H23	2.95	110	3,610	小型ポンプ B-2 級積載	おのしょう 3	平成23年 9 月
	資機材搬送車	いすゞ	PB-NPS81AR	H16	4.77	130	5,545		おのしょう21	平成16年12月
	軽四資機材 搬送車	三菱	GBD-U62T	H25	0.65	48	1,250		おのしょう25	平成25年 7 月
	査察車	スズキ	DBA-MH23S	H23	0.65	54	1,030		おのしょう23	平成23年 5 月
広報車	トヨタ	KD-KZH116G	H10	2.98	130	2,570		-	平成10年 7 月	
南 分 署	タンク車 (水Ⅱ型)	日野	PK-FE8JGFA改	H17	7.68	235	10,720	A-1 級 小型ポンプ C-1 級積載	おのしょう30	平成17年 1 月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H24	2.69	151	3,215		おのしょう93	平成24年 3 月
	軽広報車	ダイハツ	LE-S320V	H19	0.65	45	1,360		おのしょう24	平成19年10月
北 分 署	タンク車 (水Ⅰ-A型)	日野	BDG-GX7JGWA改	H20	6.40	220	9,540	A-2 級 小型ポンプ C-1 級積載	おのしょう 2	平成20年 2 月
	高規格救急車	トヨタ	3BF-TRH226S	R 3	2.69	151	3,215		おのしょう91	令和 3 年 1 月

消防署出動状況

(令和4年)

出動種別 区分	火災	救急業務	救助業務	風水害の災害	演習訓練	広報・訓練指導	警防調査	特別警戒	捜索	その他の	うち火災の誤報・誤認	合計
出動回数	18	2,562	37	1	3	862	210	24	0	403	1	4,121
前年回数	16	2,214	28	2	2	731	211	139	1	335	2	3,681
出動延人員	283	7,785	339	3	9	2,328	599	52	0	1,272	20	12,690
前年延人員	199	6,689	280	4	24	1,919	566	358	6	1,031	38	11,114

※火災出動回数は、事後聞知件数を含む。

小野市火災予防条例に関する届出状況

① 火災とまぎらわしい煙又は火災を発する恐れのある行為 (令和4年)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	63	16	6	1	3	11	1	4	5	7	17	17	151

② 煙火（がん具用煙火を除く。）の打ち上げ又は仕掛け

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

③ 劇場等以外の建築物その他の工作物における劇場、映画その他の催物の開催

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 水道の断水又は減水

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ 消防隊の通行その他消火活動に支障を及ぼす恐れのある道路工事

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	8	5	1	2	1	3	12	9	5	13	14	10	83

⑥ 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しに際して行う露店等の開設

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	1	1	0	0	0	0	1	3	1	4	1	1	13

救 急

救急概要

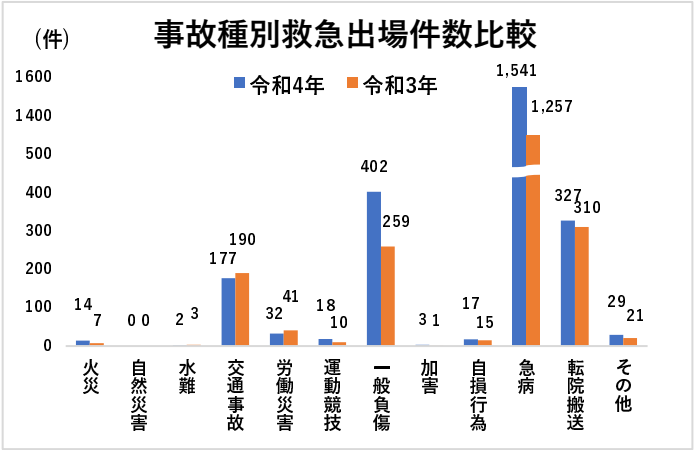
令和 4 年中の救急出場件数は2,562件、搬送人員は2,345人で、前年と比較すると、出場件数では348件増加、搬送人員では275人増加しており、市民の約20人に 1 人が救急車を利用したことになります。

また、一日の平均出場件数は約 7 件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約 7 分となっています。

救急出場件数

令和 4 年中、2,562件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,541件と全体の約60%を占めています。次いで、一般負傷の402件（約16%）、転院搬送の327件（約13%）、交通事故の177件（約 7 %）となっています。

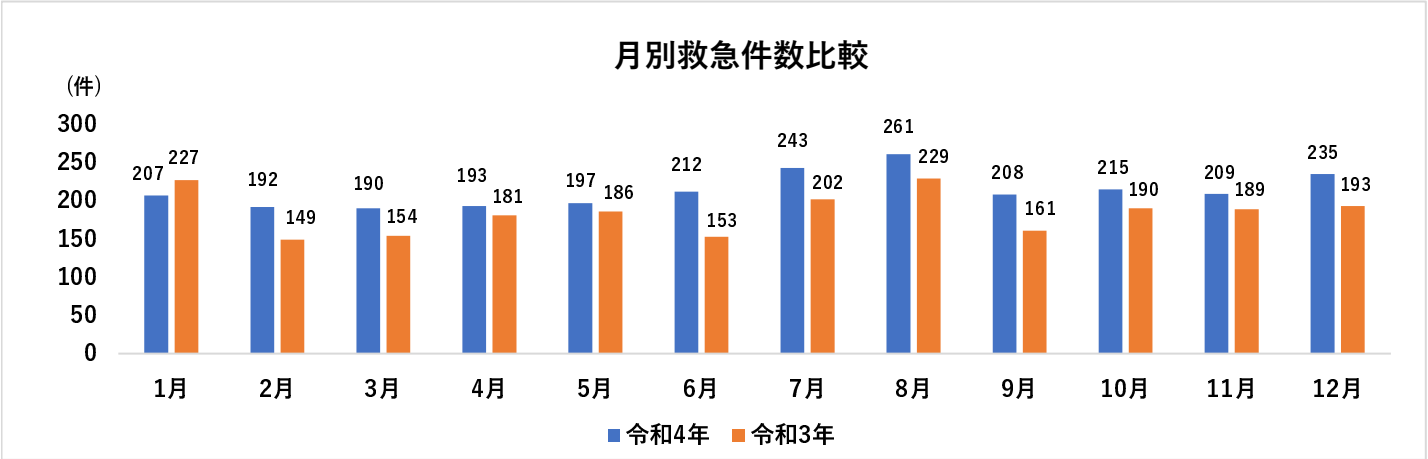
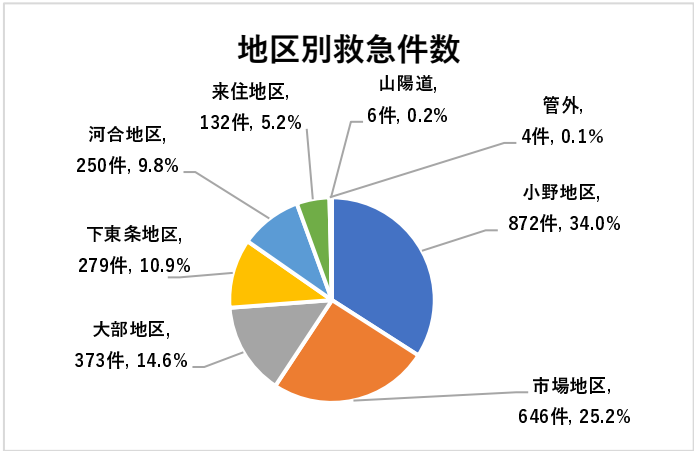
前年と比較して救急件数は348件増加しました。事故種別でみると、急病が284件、一般負傷が43件、転院搬送が17件、運動競技が 8 件の増加、交通事故が 13件、労働災害が 9 件の減少となっています。



地区別救急概要

救急出場件数を地区別にみると、小野地区が872件で全体の約34%を占め、次いで市場地区が646件（25.2%）、大部地区が373件（約14.6%）、下東条地区が279件（約10.9%）、河合地区が250件（約 9.8%）、来住地区が132件（約5.2%）、その他（山陽道・管外）が10件（約0.3%）となっています。

また、下の表のとおり、月別の救急出場件数は、8月の261件が最多で、最少は3月の190件となっており、1ヶ月平均では約214件となっています。

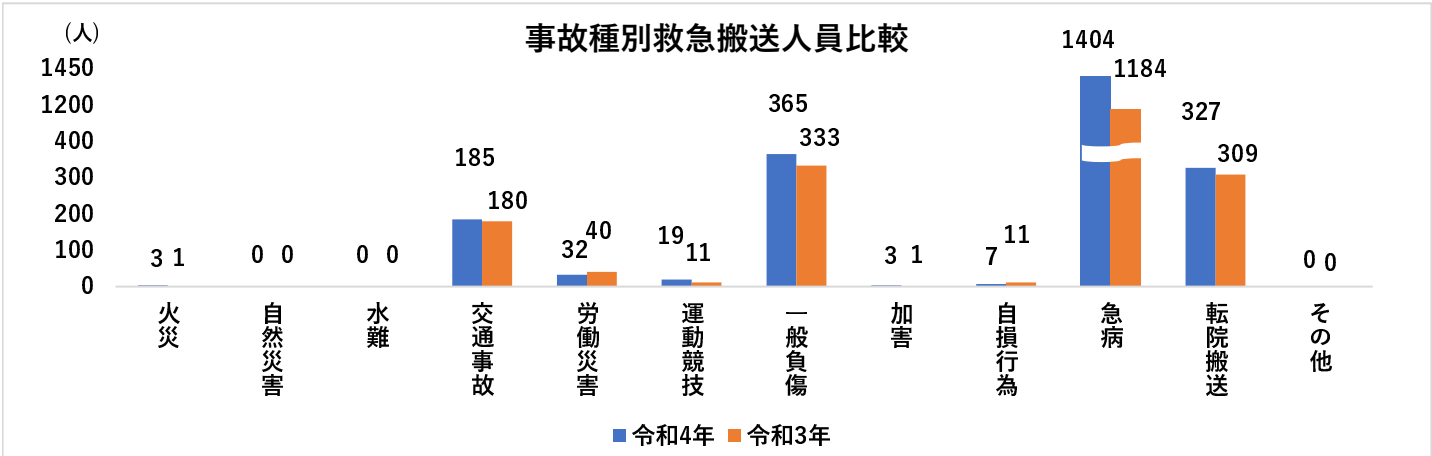
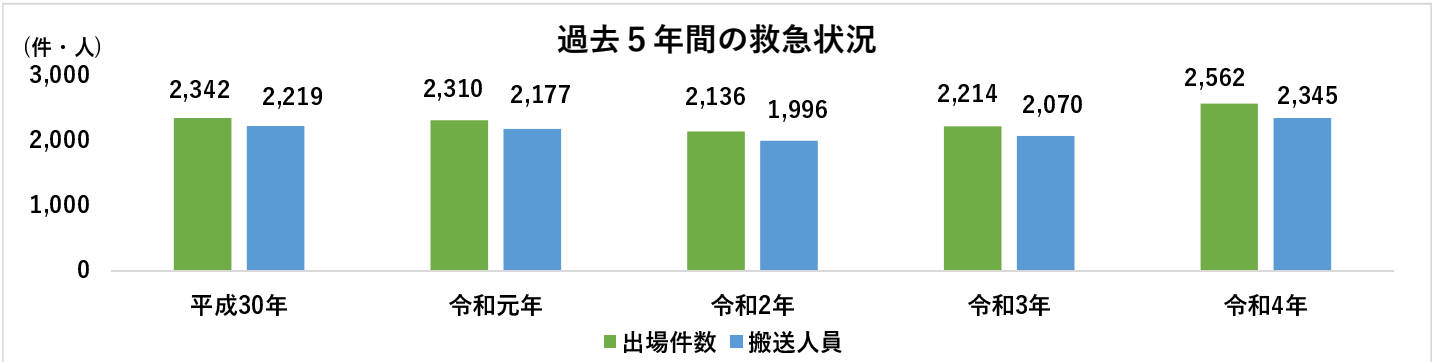
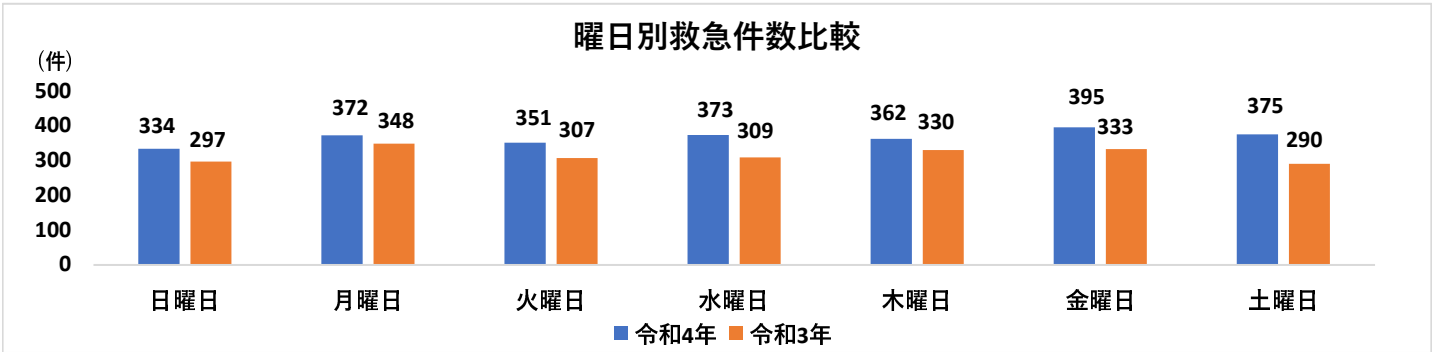
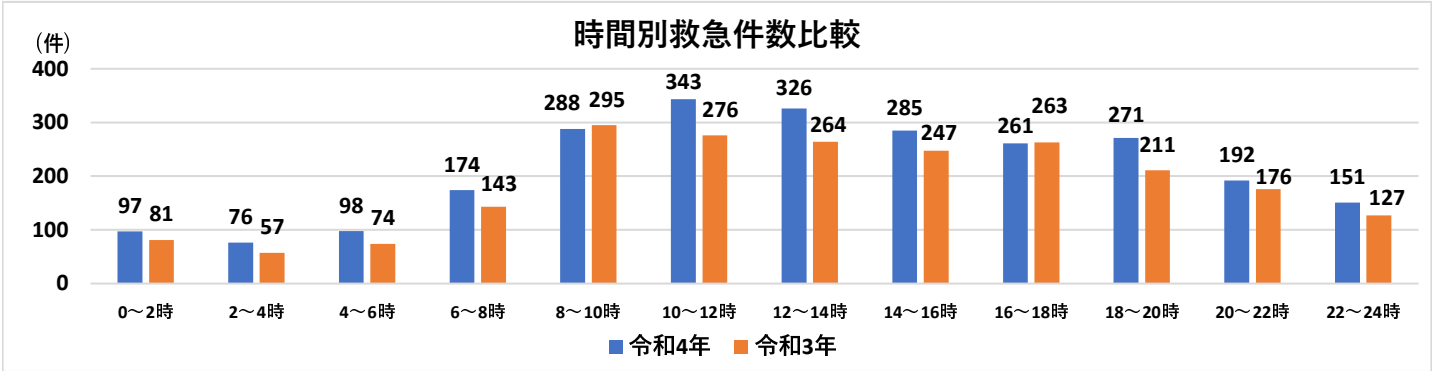


救急概要・搬送人員状況

時間帯別でみると、10時～12時が出場のピークとなっており、曜日別では金曜日が最も多く出場しています。

性別をみると男性が1,263人で、女性が1,082人となっています。

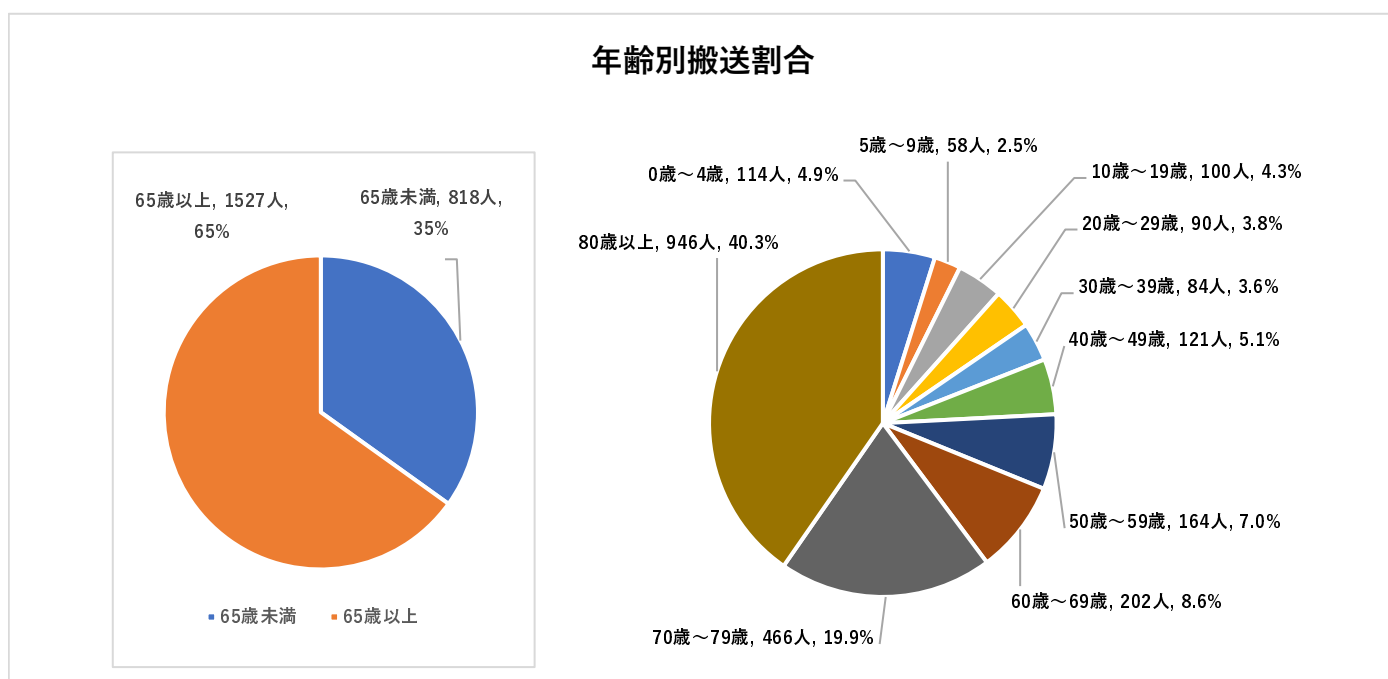
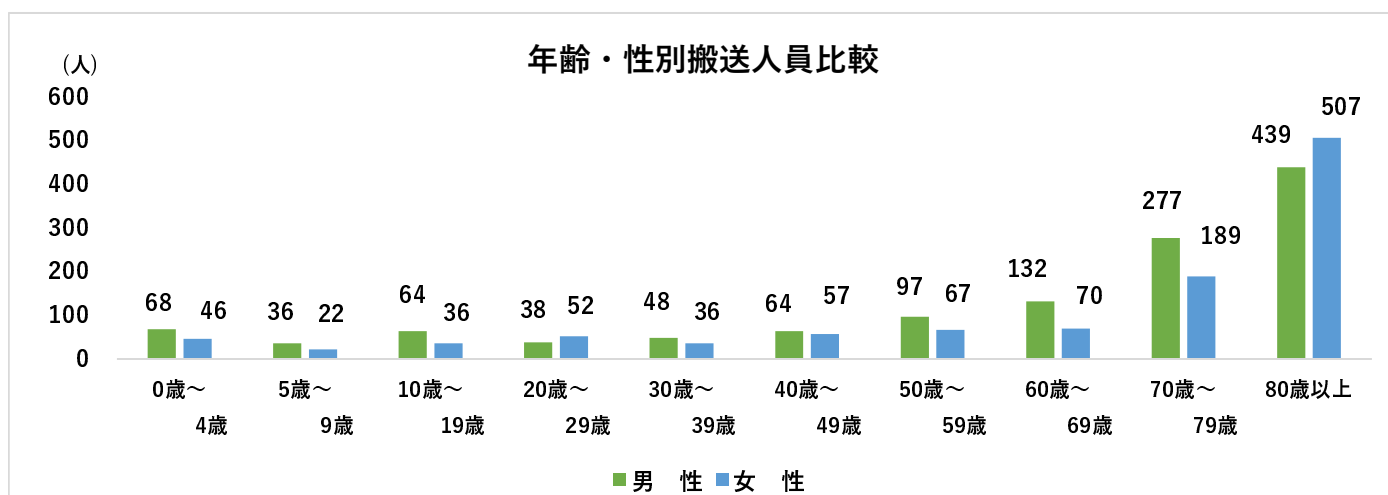
年齢別にみると、65歳以上の方が1,527人で全体の約65%を占めています。



年齢・性別搬送人員比較

(人)

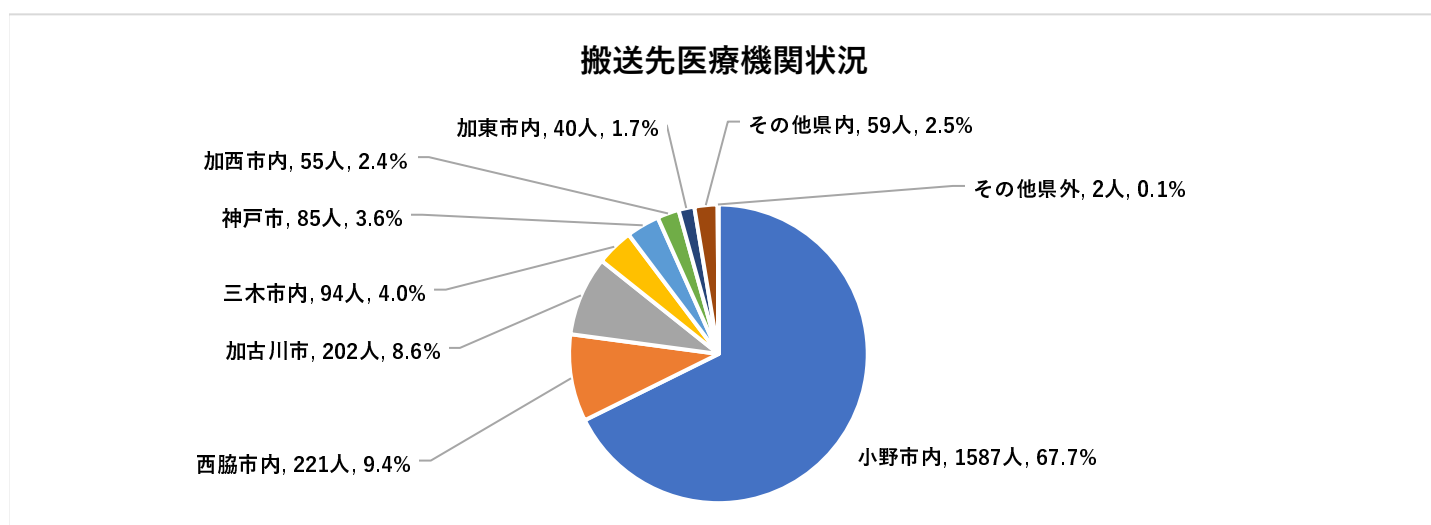
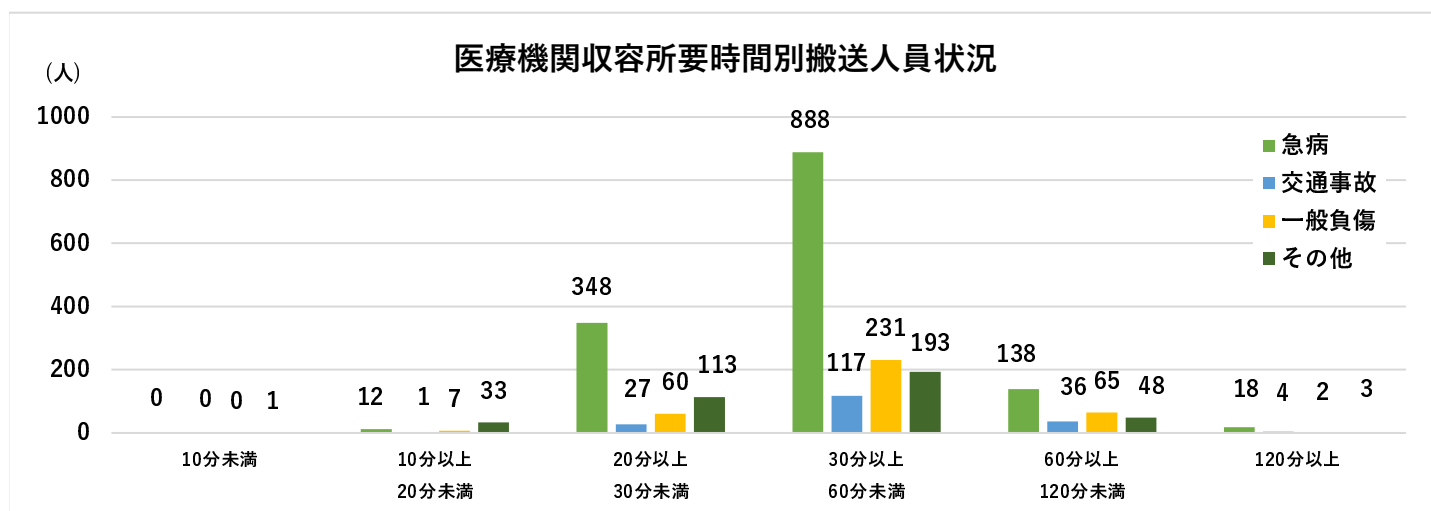
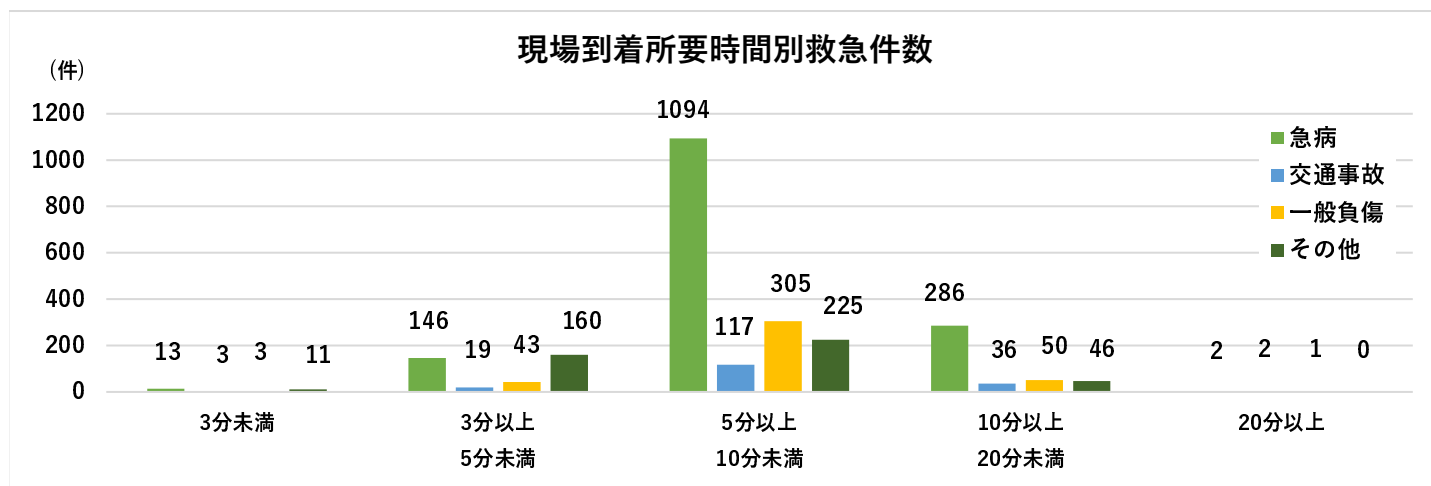
性別 年齢別	令和 4 年			令和 3 年			前年比較		
	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
0 歳～4 歳	68	46	114	79	38	117	-11	8	-3
5 歳～9 歳	36	22	58	21	6	27	15	16	31
10 歳～19 歳	64	36	100	40	34	74	24	2	26
20 歳～29 歳	38	52	90	39	46	85	-1	6	5
30 歳～39 歳	48	36	84	49	36	85	-1	0	-1
40 歳～49 歳	64	57	121	56	49	105	8	8	16
50 歳～59 歳	97	67	164	95	50	145	2	17	19
60 歳～69 歳	132	70	202	133	88	221	-1	-18	-19
70 歳～79 歳	277	189	466	223	210	433	54	-21	33
80 歳以上	439	507	946	335	443	778	104	64	168
合 計	1,263	1,082	2,345	1,070	1,000	2,070	193	82	275



救急所要時間状況

救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約7分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約41分を要しています。

傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が1,587人で全体の67.7%を占め、次いで西脇市への221人、加古川市へ202人、三木市へ94人となっています。



事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(人)

事故種別 搬送地別		救 急 事 故 種 別											合 計		
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送			そ の 他
小 野 市 内		1			95	17	11	220	1	5	1,101	136		1,587	
三 木 市					4			6			43	41		94	
加 東 市					3			8			14	15		40	
西 脇 市		1			26	2	6	61	1		98	26		221	
加 西 市		1			3	1		9			29	12		55	
加 古 川 市					37	8	1	32	1	2	75	46		202	
神 戸 市					13	3	1	18			16	34		85	
そ の 他 県 内					4	1		11			28	15		59	
県 外												2		2	
合 計		3	0	0	185	32	19	365	3	7	1,404	327	0	2,345	

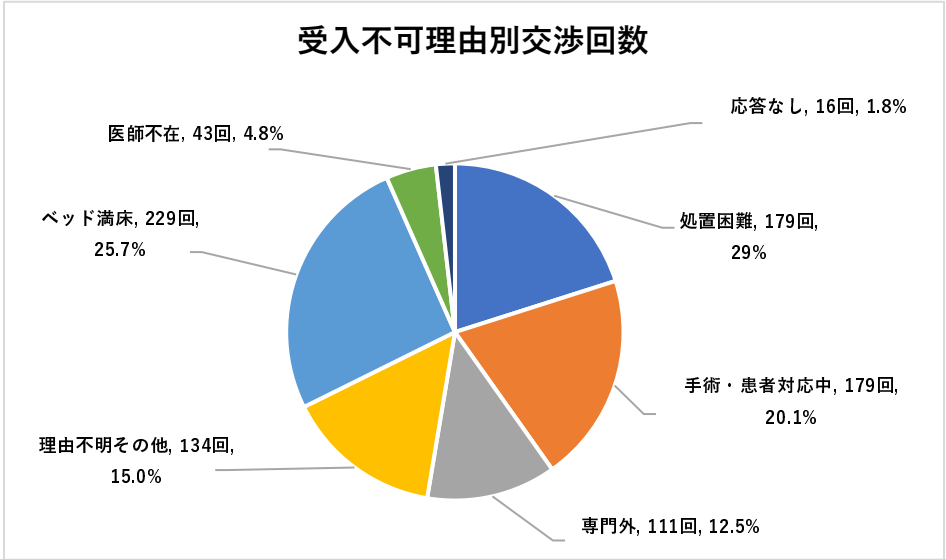
急病件数に対する過去 5 年間の比較

年別 区分	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
急病件数 (件)	1,372	1,383	1,264	1,257	1,541
全件に対する構成比	58.6%	59.9%	59.2%	56.8%	60.1%
搬送人員 (人)	1,291	1,303	1,180	1,184	1,404
全搬送人員に対する構成比	58.2%	59.9%	59.1%	57.2%	59.9%

事故種別の中で 最も多いのは急病です。

前年と比較して件数は284件増加、搬送人員は220人増加しています。

医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・受入不可理由



1 件の救急事案で医療機関に受入交渉した回数は1.4件で、平均交渉時間は約5.9分かかっています。

また、1 事案に対し 7 回の受入不可となったものが 1 件ありました。

なお、全体を通して受入不可理由で一番多いのはベッド満床 229回、次いで手術・患者対応中 179回となっています。

救 助

救助概要

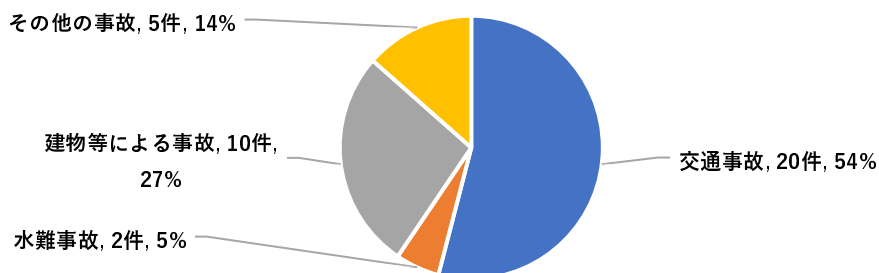
令和4年における救助活動の状況は、救助出動件数37件(対前年比9件増)、救助活動件数22件(同8件増)、このうち救助人員数(救助された人)22人(同8人増)となっています。

事故種別ごとの救助出動件数の内訳は、「交通事故」20件(同2件増)、「建物等による事故」10件(同5件増)、「その他の事故」5件(同3件増)、「水難事故」2件(同1件減)となっています。「火災(建物)」、「火災(建物以外)」、「機械による事故」、「ガス及び酸欠事故」は発生していません。

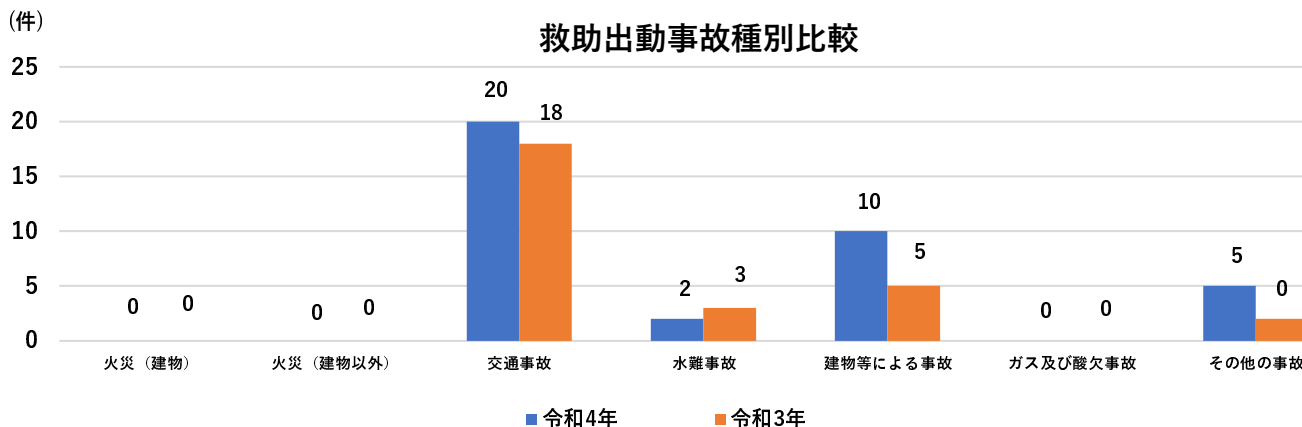
事故種別ごとの救助活動件数の内訳は、多い順から、「交通事故」11件、「建物等による事故」7件、「その他の事故」3件、「水難事故」1件となっています。

区分 事故種別	令和4年			令和3年			前年同期比較		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
火災(建物)							-	-	-
火災(建物以外)							-	-	-
交通事故	20	11	11	18	8	8	2	3	3
水難事故	2	1	1	3	2	2	-1	-1	-1
機械による事故							-	-	-
建物等による事故	10	7	7	5	3	3	5	4	4
ガス及び酸欠事故							-	-	-
その他の事故	5	3	3	2	1	1	3	2	2
合 計	37	22	22	28	14	14	9	8	8

事故種別救助件数



救助出動事故種別比較

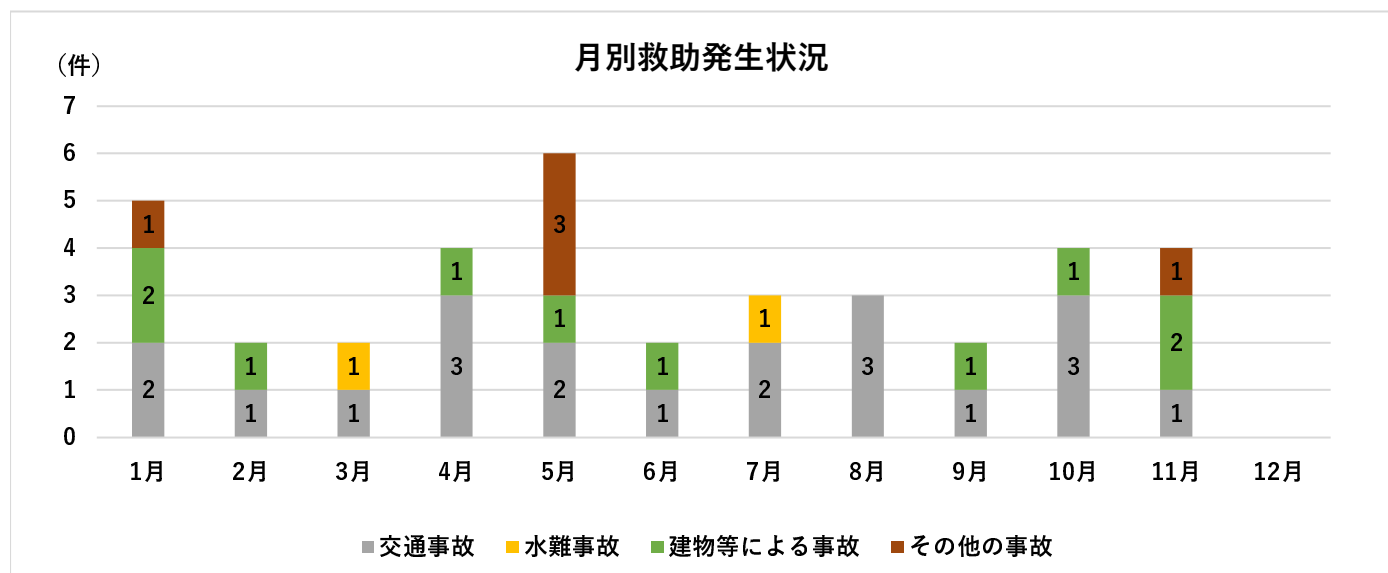


救助状況前年比較

年別 区分		令和4年				令和3年				前年比較				
		本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計	
救 助 件 数 (件)	合 計	10	15	12	37	6	11	10	28	4	4	2	9	
	火災（建物）				0				0	-	-	-	0	
	火災（建物以外）				0				0	-	-	-	0	
	交通事故	3	10	7	20	1	8	9	18	2	2	-2	2	
	水難事故			2	2	1	2		3	-1	-2	2	-1	
	機械による事故				0				0	-	-	-	0	
	建物等による事故	5	4	1	10	1	4	1	6	4	-	-	4	
	ガス及び酸欠事故				0				0	-	-	-	0	
	その他の事故	2	1	2	5		1		1	2	-	2	4	
要救助者数（人）		6	10	6	22	1	8	5	14	5	2	1	8	
出 動 人 員（人）		82	133	124	339	27	144	109	280	55	-11	15	59	

月別救助発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救助件数 (件)	火災（建物）													0
	火災（建物以外）													0
	交通事故	2	1	1	3	2	1	2	3	1	3	1		20
	水難事故			1				1						2
	機械による事故													0
	建物等による事故	2	1		1	1	1			1	1	2		10
	ガス及び酸欠事故													0
	その他の事故	1				3						1		5
	合計	5	2	2	4	6	2	3	3	2	4	4	0	37



時間別救助発生状況

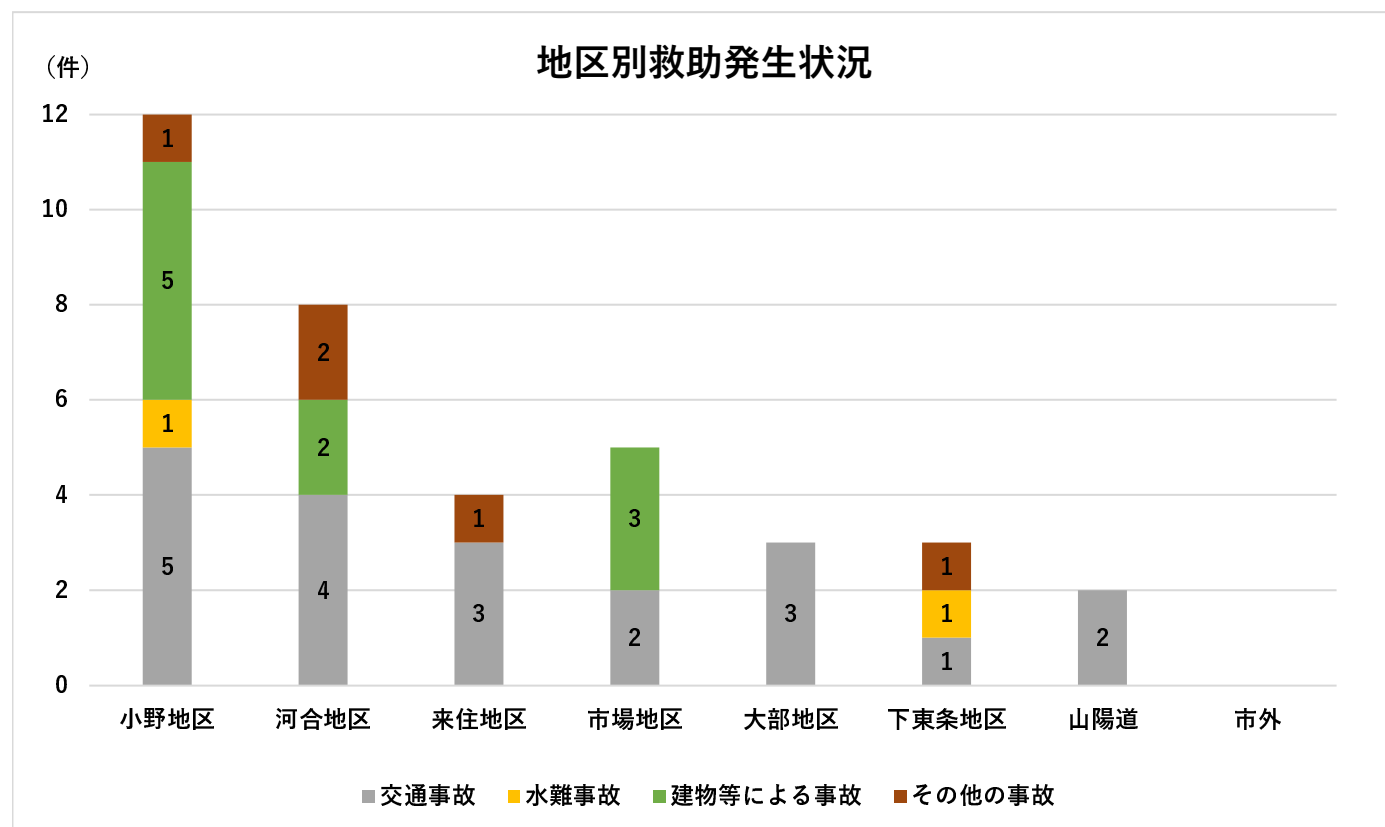
月別 時間別													救助種別								合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災 建物	火災 建物	交通	水難	機械	建物	ガス	その他	
0時～1時																					0
1時～2時					1													1			1
2時～3時																					0
3時～4時							1								1						1
4時～5時																					0
5時～6時																					0
6時～7時																					0
7時～8時	1				1				1						2					1	3
8時～9時										1	2				1			1		1	3
9時～10時	1						1								2						2
10時～11時		1	1									1			1	1		1			3
11時～12時				1		1						1			3						3
12時～13時				1	3	1									3			1		1	5
13時～14時	2				1													2		1	3
14時～15時			1					1							2						2
15時～16時							1	1							1	1					2
16時～17時	1								1									1		1	2
17時～18時								1							1						1
18時～19時										1								1			1
19時～20時		1								1					1			1			2
20時～21時				1														1			1
21時～22時										1					1						1
22時～23時				1											1						1
23時～24時																					0
不 明																					0
合 計	5	2	2	4	6	2	3	3	2	4	4	0	0	0	20	2	0	10	0	5	37

曜日別救助発生状況

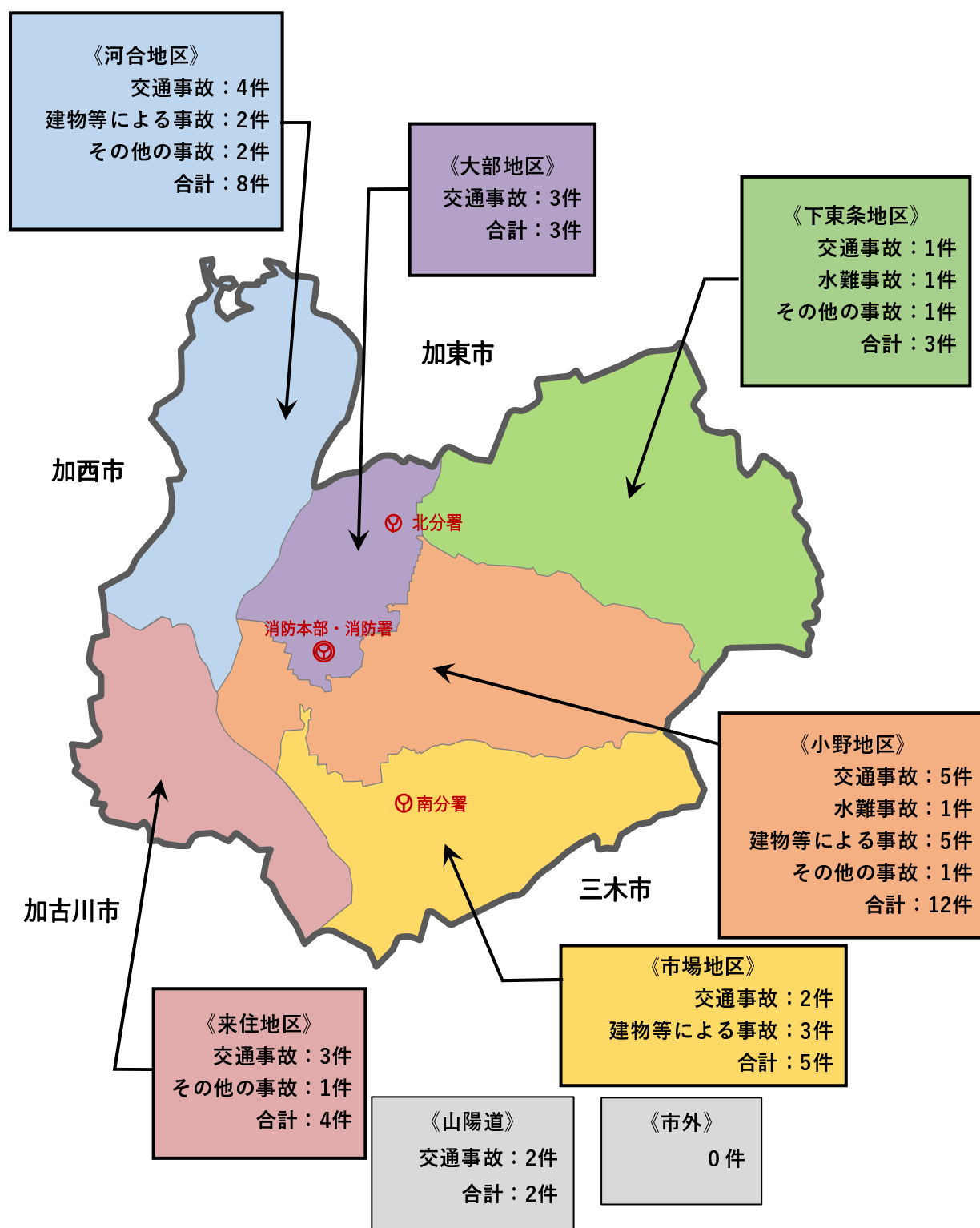
月別 時間別													救助種別								合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災 建物	火災 建物	交通	水難	機械	建物	ガス	その他	
日曜日	1									1	2				2			1		1	4
月曜日				1	1				2		1				2			2		1	5
火曜日			2	1						1					1	1		2			4
水曜日	1	1			1		1	1							4			1			5
木曜日	2			1	1	1				1					3			3			6
金曜日	1			1	1			1		1	1				4			1		1	6
土曜日		1			2	1	2	1							4	1				2	7
不 明																					0
合 計	5	2	2	4	6	2	3	3	2	4	4	0	0	0	20	2	0	10	0	5	37

地区別救助発生状況

地区別 種別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	山陽道	市外	合 計
火災（建物）									0
火災（建物以外）									0
交通事故	5	4	3	2	3	1	2		20
水難事故	1					1			2
機械による事故									0
建物等による事故	5	2		3					10
ガス及び酸欠事故									0
その他の事故	1	2	1			1			5
件数合計	12	8	4	5	3	3	2	0	37

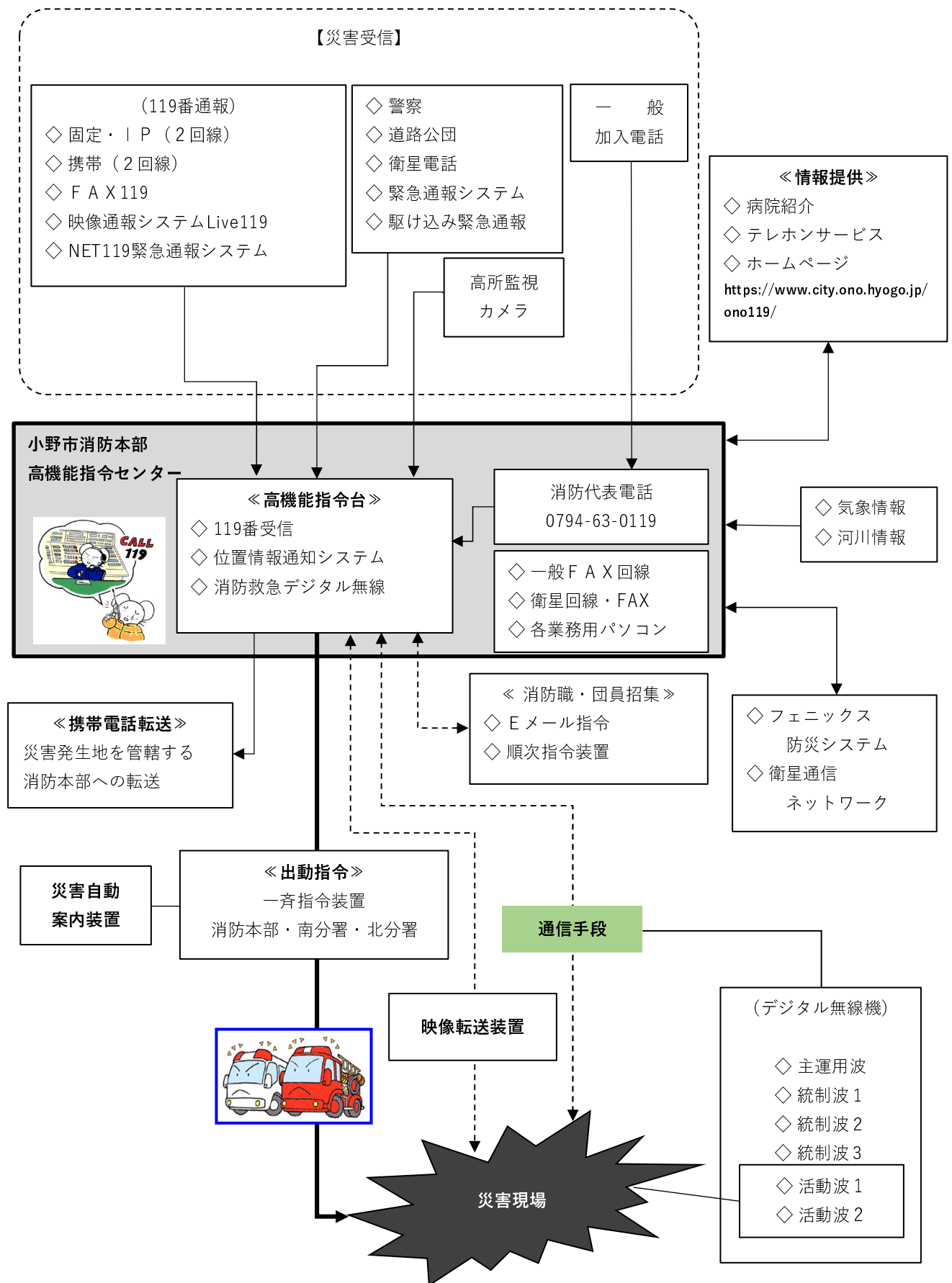


地区別救助発生状況全体図



指令

消防通信系統図



119番通報状況

令和4年中の総受信件数は、6,914件で前年（6,207件）より707件の増加で、1日平均19件となり、市民約6.9人に1人が通報したことになります。

受信状況の内訳は、火災18件（0.26%）、救急2,479件（35.85%）、救助37件（0.54%）、警戒113件（1.63%）となっており、全体の約38%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は、2,086件（約30%）でした。

また、いたずらや間違い等緊急性のない通報（試験の883件除く）が1,298件（約19%）でした。

区分 月別	災 害				試 験	いた ずら	間 違 い	（医 療 機 関 の 問 い 合 せ）	そ の 他	合 計
	火 災	救 急	救 助	警 戒						
1月	1	199	5	12	78		8	183	97	583
2月	1	189	2	7	78	1	3	146	94	521
3月	2	186	2	6	72		6	140	73	487
4月	5	184	4	5	72		6	143	73	492
5月	2	186	6	9	79	2	3	191	76	554
6月		208	2	16	77		1	135	92	531
7月	1	235	3	5	70		9	256	119	698
8月	2	251	3	13	69	1	10	235	150	734
9月	1	203	2	5	73		7	155	88	534
10月	1	203	4	10	76	1	10	168	93	566
11月	1	203	4	10	59	1	4	145	115	542
12月	1	232		15	80		7	189	148	672
合計	18	2,479	37	113	883	6	74	2,086	1,218	6,914
比率(%)	0.26%	35.85%	0.54%	1.63%	12.77%	0.09%	1.07%	30.17%	17.62%	100%
前年件数	16	2,140	28	96	956	9	97	1,728	1,137	6,207
前年比	2	339	9	17	-73	-3	-23	358	81	707

119番による口頭指導実施状況

月別 \ 項目	C P R	気 道 異 物 除 去	熱 傷 手 当	創 傷 手 当	指 趾 切 断 手 当	そ の 他	合 計
1月	8	1	0	6	0	1	16
2月	6	0	0	2	0	1	9
3月	5	0	0	4	0	0	9
4月	5	1	2	6	1	6	21
5月	0	0	0	5	0	7	12
6月	5	0	1	4	0	5	15
7月	1	0	0	8	0	6	15
8月	11	0	0	5	0	8	24
9月	1	0	2	3	0	5	11
10月	5	1	0	15	0	8	29
11月	6	0	0	4	0	3	13
12月	5	0	0	5	0	4	14
合計	58	3	5	67	1	54	188

情報テレフォンサービス利用件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
78	47	41	34	30	37	66	39	21	28	36	41	498

※ 情報テレフォンサービスでは、医療機関情報及び災害状況案内を行っています。

消防無線一覧

(1) デジタル無線設備 (260MHz)

(令和5年4月現在)

種別 名称	基地局	陸上移動局 (携帯型)			備 考
		車載型	携帯型	卓上・可搬型	
	出力10W	出力10W	出力5W	出力10W	
活動波1	1	18	25	3 (卓上型1、 可搬型2)	統制波は3チャンネル 切替方式
活動波2					
主運用波					
統制波1					
統制波2					
統制波3					

(2) 署活系無線設備 (400MHz)

(令和5年4月現在)

種別 名称	陸上移動局 (携帯型)	備 考
第1波	35	第3波は兵庫県内共通波 第4波は防災相互波
第2波	35	
第3波	35	
第4波	35	

気象状況

項目 月別	風向/風速 (m/s)			気温 (°C)			相対湿度 (%)			雨量 (mm)	
	最大瞬間風速	平均風速	平均風向	最高気温	最低気温	平均気温	最高湿度	最低湿度	平均湿度	最大時間雨量	積算雨量(月)
1月	16.7 西	1.7	北北東	12.9	-3.9	3.1	98.6	32.4	76.7	2	10.5
2月	15.5 西北西	1.9	北北東	13.5	-5.5	3	98.6	28.3	68.9	2	14
3月	17.9 南西	2.1	北北東	20.5	-1.7	9.3	99.7	29.9	73.9	8.5	93.5
4月	18.1 北	2.4	北北東	27	0.6	14.7	99.1	13.8	67.7	16.5	117
5月	12.7 南	1.8	北北東	30.3	5.3	18.1	99.7	16.1	69.8	5	71.5
6月	16 東北東	2.3	南南西	33.4	11.8	22.9	99.4	24.4	78.3	5.5	71.5
7月	12.5 南南西	2	南南西	36.5	20.4	27.2	99.7	43	81.1	54	164.5
8月	17.1 北西	2.1	南西	34.6	18.2	27.8	99.7	46.9	81.7	42.5	131
9月	28.5 南南東	2.8	北北東	34.5	14.9	24.8	99.4	37.4	78.5	12.5	104.5
10月	14.5 北	2	北北東	29.2	5.7	16.9	99.7	33.6	77.7	5.5	90
11月	15.6 南	1.5	静穏	22.9	3.5	12.7	99.7	38.3	83.1	9	97.5
12月	15.1 西南西	1.6	西北西	16	-3.6	4.9	99.7	29.4	76	2.5	14.5

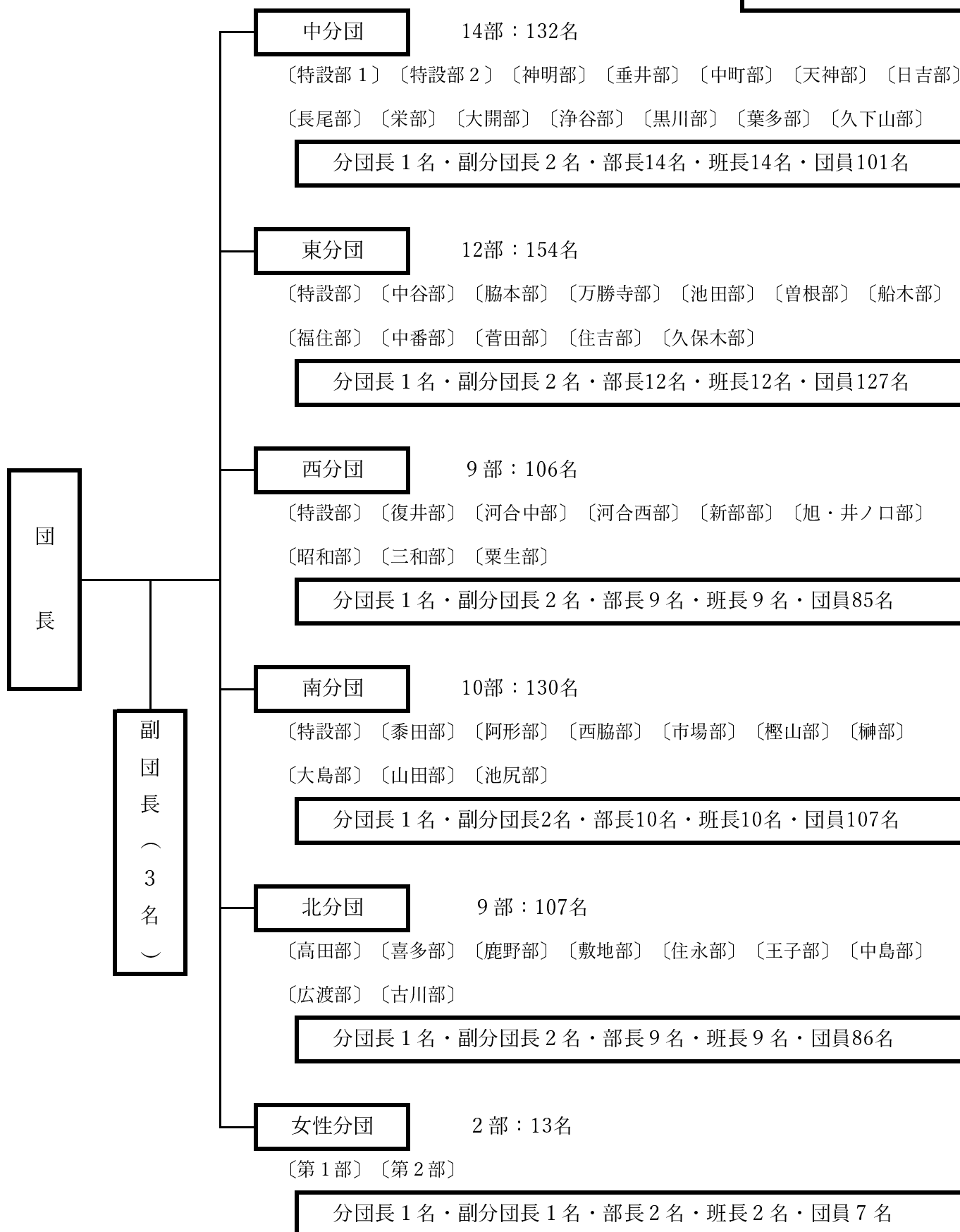
(注) 小野市防災センター(小野市王子町)における観測データを使用

消防団

消防団組織

(令和5年4月1日現在)

全56部 総数646名



消防団行事

令和4年	4月3日	小野市消防団総合訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	4月10日	小野市消防大会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため規模縮小
	4月23日	小野市消防団幹部研修会	
	7月6日	分団長会議	
	7月2日	兵庫県女性消防団員技術研修会	
	8月20日	小野まつり警戒（20日、21日）	
	9月16日	分団長会議	
	11月3日	消防防災フェス	
	11月6日	実践中継訓練	
	11月6日	ひょうご消防のつどい（川西市）	
	11月6日	幹部会議	
	11月9月	秋季全国火災予防運動（9日～15日）	市内全域（各分団）
	12月4日	第9回小野ハーフマラソン2022警備	
	12月29日	年末警戒（29日～30日）	
令和5年	1月6日	分団長会議	
	1月14日	高齢者宅住宅防火訪問	
	1月22日	重要文化財防火訓練	
	1～3月	火災予防特別警戒（1月～3月）	市内全域（各分団）
	2月11日	中番小学校区教育防災訓練	
	2月12月	兵庫県女性消防団員活性化研修会	
	3月1日	春季全国火災予防運動（1日～7日）	市内全域（各分団）
	3月14日	臨時分団長会議	

* 消防水利（消火栓・防火水槽）点検 年2回実施 ・各部定期訓練 毎月実施

消防力の現況

（令和5年4月1日現在）

組織		人 員	消防ポンプ自動車	軽四積載車	小型動力ポンプ
消防団		646	6	49	54
構 成 内 容	団 本 部	4	1	0	0
	中 分 団	132	2	12	14
	東 分 団	154	1	11	12
	西 分 団	106	1	8	9
	南 分 団	130	1	9	10
	北 分 団	107	0	9	9
	女 性 分 団	13	0	0	0

消防団員出動状況

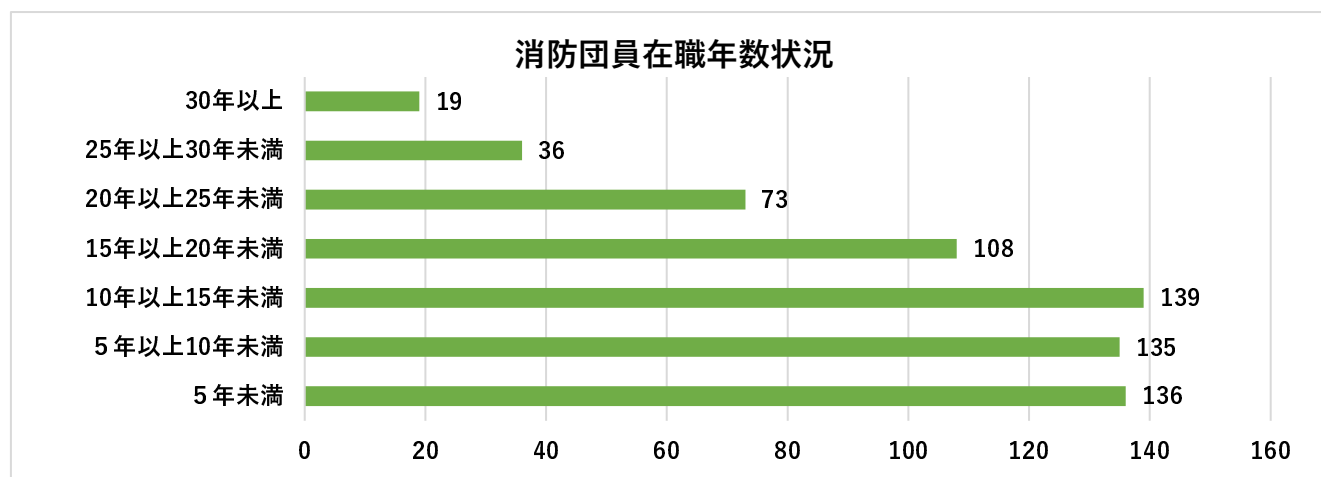
(令和4年度)

区分	出動種別	各種災害出動		演 習 訓 練	特 別 警 戒	水 利 調 査	そ の 他	う ち 火 災 の 誤 報 ・ 誤 認	合 計
		火 災 ・ 救 急 ・ 救 助 等	風 水 害						
	出 動 回 数	18	0	12	12	108	672	0	822
	前 年 出 動 回 数	7	0	7	10	65	799	0	888
	出 動 延 人 員	192	0	1,366	1,042	491	4,084	0	7,175
	前 年 出 動 延 人 員	43	0	275	903	371	5,530	0	7,122

消防団員の在職年数状況

(令和5年4月1日現在)

在 職 年 数	人数	(うち女性)
5 年未満	136	(2)
5 年以上10年未満	135	(3)
10年以上15年未満	139	(1)
15年以上20年未満	108	(2)
20年以上25年未満	73	(5)
25年以上30年未満	36	
30年以上	19	
合 計	646	(13)



年齢別消防団員数

(令和5年4月1日現在)

階級 年齢	小計		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
		うち女性							
18歳未満	0								
18歳	0								
19歳	2								2
20歳	2	1					1		1
21歳	0								
22歳	3								3
23歳	4	1						1	3
24歳	4								4
25歳	5							1	4
26歳	8						1	1	6
27歳	5						2	3	
28歳	2							1	1
29歳	11						2	2	7
30歳	13						2		11
31歳	19						2	1	16
32歳	17	1					4	2	11
33歳	25						3	4	18
34歳	25	1					3	3	19
35歳	30						6	4	20
36歳	30						2	1	27
37歳	40	1			1	1	6	4	28
38歳	32	1				2	4	2	24
39歳	40				1	1	3	7	28
40歳	28					2	1	1	24
41歳	34						4		30
42歳	35					1	2	3	29
43歳	25						1	3	21
44歳	29				1		3	2	23
45歳	31						2		29
46歳	28							4	24
47歳	21								21
48歳	23					1		1	21
49歳	16	1				2	1		13
50歳	15	1			1	1		3	10
51歳	8								8
52歳	7						1		6
53歳	8	1		1	1			1	5
54歳	3				1				2
55歳	0								
56歳	3			1					2
57歳	4	3						1	3
58歳	2								2
59歳	1								1
60歳	1			1					
61歳	1		1						
62歳	0								
63歳	0								
64歳	0								
65歳以上	6	1							6
合計人数	646	13	1	3	6	11	56	56	513
平均年齢	40.1	44.0	61.0	56.3	46.2	42.7	36.4	37.8	40.4

消防団員等公務災害発生状況

(令和4年度)

区分 災害種別	階級別						傷病程度					
	正・副団長	正・副分団長	部長	班長	団員	消防作業従事者	一週間未満	一週間～二週間	二週間～一ヶ月	一ヶ月～三ヶ月	三ヶ月以上	死亡
消火活動中												
救急活動中												
水防活動中												
消防訓練中												
特別警戒中												
その他												
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

消防団表彰状況

種別 \ 年度別		平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
消防庁長官	団 体					
	個 人	1	1	2	1	1
日本消防協会	団 体		1		1	
	個 人	6	9	6	9	6
日本消防協会(特別)	団 体					
	個 人					
兵庫県知事	団 体					
	個 人	4	4	4	4	4
兵庫県消防協会	団 体					
	個 人	17	21	16	21	16
北播消防協議会	団 体	1	1	1	1	1
	個 人	15	15	15	15	15
小野市長	個 人	4	5	11	5	5
小野市消防団長	団 体	10	10	10	10	10
	個 人	50	58	41	33	33

消防自動車の現況

【特設部別】

(令和5年4月1日現在)

種別	分 団 別	車 番	車 種	年 式	級 別	排気量	登録年月日	
消 自 防 ポ 動 ン プ 車	団本部〔	ポンプ車	800 そ 4428	いすゞ	平成27年	A－2	2.99	平成 27 年 12 月 10 日
		多機能車	800 ち 1016	日 産	令和 2 年	－	2.48	令 和 2 年 3 月 24 日
	中分団特設部		800 す 9295	日 野	平成18年	A－2	4.00	平 成 18 年 3 月 22 日
			800 そ 235	トヨタ	平成24年	A－2	4.00	平 成 24 年 11 月 13 日
	東分団特設部		800 そ 1602	トヨタ	平成25年	A－2	4.01	平 成 25 年 11 月 11 日
	西分団特設部		800 さ 7028	日 野	平成12年	A－2	4.89	平 成 12 年 12 月 12 日
	南分団特設部		800 す 7970	日 野	平成17年	A－2	4.00	平 成 17 年 9 月 2 日

【分団別】

(令和5年4月1日現在)

種別	分団別	部 別	車 番	車 種	年 式	登録年月日
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 (軽 四)	中分団	神 明 部	880 あ 225	スズキ	平成17年	平成17年9月29日
		垂 井 部	880 あ 2568	三 菱	平成24年	平成24年9月27日
		中 町 部	880 あ 2913	三 菱	平成25年	平成25年10月8日
		天 神 部	880 あ 5448	三 菱	令和2年	令和2年9月18日
		日 吉 部	880 あ 2147	三 菱	平成23年	平成23年7月22日
		長 尾 部	880 あ 866	三 菱	平成19年	平成19年9月14日
		栄 部	880 あ 227	スズキ	平成17年	平成17年9月29日
		大 開 部	880 あ 2912	三 菱	平成25年	平成25年10月8日
		浄 谷 部	80 あ 2909	三 菱	平成15年	平成15年8月28日
		黒 川 部	880 あ 5140	ダイハツ	令和元年	令和1年11月18日
		葉 多 部	880 あ 3274	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		久 下 山 部	880 あ 1227	スバル	平成20年	平成20年9月8日
	東分団	中 谷 部	880 あ 865	三 菱	平成19年	平成19年9月14日
		脇 本 部	80 あ 2157	三 菱	平成12年	平成12年8月28日
		万 勝 寺 部	80 あ 2643	スバル	平成14年	平成14年8月8日
		池 田 部	880 あ 5447	三 菱	令和2年	令和2年9月18日
		曾 根 部	880 あ 5139	ダイハツ	令和元年	令和1年11月18日
		船 木 部	880 あ 5813	ダイハツ	令和3年	令和3年11月12日
		福 住 部	880 あ 518	三 菱	平成18年	平成18年8月25日
		中 番 部	80 あ 1785	スバル	平成10年	平成10年7月23日
		菅 田 部	880 あ 6119	三菱	令和4年	令和4年11月22日
		住 吉 部	80 あ 1968	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		久 保 木 部	880 あ 2567	三 菱	平成24年	平成24年9月27日
		復 井 部	880 あ 4702	三 菱	平成30年	平成30年9月6日
	西分団	河 合 中 部	80 あ 2158	三 菱	平成12年	平成12年8月28日
		河 合 西 部	880 あ 3941	ダイハツ	平成28年	平成28年9月16日
		新 部 部	80 あ 2644	スバル	平成14年	平成14年8月8日
		旭・井ノ口部	880 あ 1825	三 菱	平成22年	平成22年7月13日
		昭 和 部	80 あ 1644	三 菱	平成9年	平成9年10月7日
		三 和 部	80 あ 3218	スズキ	平成16年	平成16年9月21日
		栗 生 部	880 あ 4703	三 菱	平成30年	平成30年9月6日
		黍 田 部	880 あ 1226	スバル	平成20年	平成20年9月8日
	南分団	阿 形 部	880 あ 5812	ダイハツ	令和3年	令和3年11月12日
		西 脇 部	880 あ 6120	三菱	令和4年	令和4年11月22日
		市 場 部	80 あ 1395	スバル	平成8年	平成8年7月16日
		檜 山 部	880 あ 519	三 菱	平成18年	平成18年8月25日
		榑 部	880 あ 1824	三 菱	平成22年	平成22年7月13日
		大 島 部	880 あ 3943	ダイハツ	平成28年	平成28年9月16日
		山 田 部	880 あ 226	スズキ	平成17年	平成17年9月29日
		池 尻 部	80 あ 3219	スズキ	平成16年	平成16年9月21日
	北分団	高 田 部	80 あ 2910	三菱	平成15年	平成15年8月28日
		喜 多 部	880 あ 2148	三 菱	平成23年	平成23年7月22日
		鹿 野 部	880 あ 3273	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		敷 地 部	880 あ 1565	スバル	平成21年	平成21年9月11日
		住 永 部	880 あ 4355	ダイハツ	平成29年	平成29年10月19日
		王 子 部	880 あ 3538	三 菱	平成27年	平成27年7月23日
		中 島 部	880 あ 3537	三 菱	平成27年	平成27年7月23日
		広 渡 部	880 あ 4356	ダイハツ	平成29年	平成29年10月19日
		古 川 部	880 あ 1566	スバル	平成21年	平成21年9月11日

沿 革

小野市消防本部の沿革

1954年（昭和29年）

- 12月 6か町村（小野町、河合村、来住村、市場村、大部村、下東条村）の合併により、小野市が発足
同時に『小野市連合消防団』（1,375名）を組織

1956年（昭和31年）

- 4月 加東郡社町のうち、久保木及び古川部落を編入し、市街地の3分団を統合し、特設分団（分団員50名）を発足
- 10月 消防ポンプ自動車（A2級）を配備

1957年（昭和32年）

- 5月 消防ポンプ自動車（A2級）を配備

1960年（昭和35年）

- 4月 『小野市連合消防団』の名称を『小野市消防団』に改める。

1963年（昭和38年）

- 4月 櫛分団を新設
- 10月 水槽付消防自動車を配備

1965年（昭和40年）

- 4月 消防本部及び消防署を設置
大開分団を新設し、団員1,414名となる。
- 12月 三木市加佐字草加野及び三木市細川町脇川（通称草加野）の両地区の消防行政を、小野市消防本部が受託する。

1966年（昭和41年）

- 12月 救急自動車（A級）を配備し、救急業務を開始

1968年（昭和43年）

- 4月 消防団員の定員を1,144名とする。
東部特設分団（小田）を新設し、それに伴い消防ポンプ自動車（A2級）を配備
- 5月 消防ポンプ自動車（BD-1型）を受納

1970年（昭和45年）

- 2月 日本消防協会から優良消防団として、表彰旗を受ける。
- 4月 消防団の機構を改正し、副団長13名を3名に、56分団を6分団56部に編成
- 11月 東分団特設部詰所及び車庫を新築

1971年（昭和46年）

- 4月 化学消防自動車（I型）を配備
- 6月 消防庁舎新築

1972年（昭和47年）

- 1月 西分団特設部に消防ポンプ自動車（B D－I 型）を配備
- 4月 特設分団を中分団特設部（2部）に改める。
また、南分団来住部、同下来住部を新たに南分団特設部として設置、これにより
消防団機構は、5分団56部となり、消防団員定員を1,060名とする。
- 11月 南分団特設部に消防ポンプ自動車（B D－I 型）を配備

1973年（昭和48年）

- 10月 兵庫県危険物安全協会小野支部を改組し、新たに小野市防火協会を設立

1974年（昭和49年）

- 1月 救急自動車（B 3 型）を配備（更新）
- 3月 東分団特設部、小田上部、小田下部をもって新たに東分団特設部を設置
消防団機構は、5分団54部となる。

1975年（昭和50年）

- 3月 消防ポンプ自動車（A 2 級）を配備

1977年（昭和52年）

- 2月 水槽付消防ポンプ自動車（A 2 級）を配備（更新）
車庫の寄贈を受ける。
- 11月 救急自動車（R H42 V B 型）の寄贈を受ける。

1979年（昭和54年）

- 1月 消防本部にC級救急指令装置を設置
- 2月 サイレン吹鳴制御装置（本部に親局、市内9か所に子局）を新設
- 11月 普通貨物自動車を配備
消防ポンプ自動車（B D－I 級）を受納

1980年（昭和55年）

- 3月 指令車を配備

1981年（昭和56年）

- 3月 中分団に消防ポンプ自動車（A 2 級）を配備（更新）
- 12月 救急車（R H45 V B 型）の寄贈を受ける。

1982年（昭和57年）

- 3月 消防署の車庫を増築（市役所第4庁舎）
- 10月 東分団に消防ポンプ自動車（A 2 級）を配備
- 12月 西分団特設部詰所及び車庫新築

1983年（昭和58年）

- 12月 東分団特設部詰所増改築

1984年（昭和59年）

- 3月 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車（A 1 級）を配備
- 4月 消防団員の定員を1,044名とする

1985年（昭和60年）

2月 化学消防自動車（Ⅱ型）を配備（更新）

1986年（昭和61年）

4月 消防本部に水防倉庫設置

5月 殺菌灯付ロッカー（救急用）の寄贈を受ける。

10月 県内共通波基地局無線設備整備

1987年（昭和62年）

6月 広報車の寄贈を受ける。

10月 救急車の寄贈を受ける。

気象観測装置整備

1988年（昭和63年）

1月 西分団に消防ポンプ自動車（B D－Ⅰ型）を配備（更新）

2月 消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型）を配備（更新）

3月 消防訓を制定

4月 指令車を配備（更新）

8月 小型動力ポンプ積載車を配備

11月 南分団に消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型）を配備（更新）

1989年（平成元年）

1月 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－A型）を配備（更新）

8月 普通貨物自動車を配備（更新）

11月 救急車（2 B型）の寄贈を受ける。

12月 中分団に消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型）を配備（更新）

1990年（平成2年）

3月 消防緊急情報システム（Ⅰ型）を配置

1991年（平成3年）

3月 全国共通波（第1波）基地局設備整備

消防無線用パンザーマスト25mを新設

1992年（平成4年）

2月 南分署庁舎新築（延678.85㎡）

3月 署所端末装置及び消防無線（救急波）整備事業完了

救急自動車（2 B型）の寄贈を受ける。

1993年（平成5年）

1月 河合水防倉庫新築

3月 消防庁舎改修工事完成

南分署に小型動力ポンプ付水槽車兼薬液搬送車を配備、薬液タンク庫（17.5㎡）を増築、

化学消火薬剤10kℓを備蓄

8月 消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型）の寄贈を受ける。

11月 中分団に消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型）を配備（更新）

1994年（平成6年）

3月 準高規格救急車を配備

1995年（平成7年）

2月 東分団に消防ポンプ自動車（CD-I型）を配備（更新）

3月 消防緊急通信指令施設（地図等検索装置）整備事業完了
市町村波基地局消防無線設備を整備（更新）

12月 救助工作車（II型）を配備

1996年（平成8年）

12月 高規格救急自動車を配備、運用開始（準高規格救急自動車の更新）
県内共通波基地局消防無線設備を整備（更新）

1997年（平成9年）

3月 耐震性貯水槽飲料水兼用（100m³型）を整備

6月 査察車を配備

7月 指令車を配備（更新）

1998年（平成10年）

1月 全国共通波（第1、2波）基地局消防無線設備整備

3月 化学消防自動車（II型）を配備（更新）

10月 小型動力ポンプ積載車を配備（更新）
指揮広報車を配備

12月 コミュニティー消防センター（中分団特設部詰所併設）新築
南分団特設部詰所及び車庫改装

1999年（平成11年）

2月 高規格救急自動車を配備（準高規格救急自動車の更新）

4月 消防団員の定員を874名とする。

2000年（平成12年）

12月 西分団に消防ポンプ自動車（CD-I型）が配備（更新）

2001年（平成13年）

2月 高規格救急自動車を配備（準高規格救急自動車を更新）

4月 消防団女性分団が発足

9月 屈折はしご自動車（20m級）を配備（更新）

2002年（平成14年）

8月 総合気象観測装置整備（更新）

9月 消防職・団員召集システム整備

2004年（平成16年）

4月 久保木部を北分団から東分団に編成替えする。

12月 消防資機材搬送車を配備（更新）

2005年（平成17年）

- 2月 南分署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)
- 3月 下東条地域防災拠点施設（東分団特設部詰所）建設
- 9月 南分団特設部に消防ポンプ自動車（CD－I型）を配備（更新）

2006年（平成18年）

- 3月 中分団特設部に消防ポンプ自動車（CD－I型）を配備（更新）

2007年（平成19年）

- 3月 高規格救急自動車を配備（更新）
- 10月 小野ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。

2008年（平成20年）

- 2月 消防署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)

2010年（平成22年）

- 2月 高規格救急自動車を配備（更新）
- 3月 通信指令システム更新（位置情報システム導入）
- 3月 消防庁舎耐震化
- 4月 消防団員の定員を700名とする。

2011年（平成23年）

- 5月 査察車を配備（更新）
- 10月 消防ポンプ自動車を更新し小型動力ポンプ付積載車（B2ポンプ）を配備

2012年（平成24年）

- 3月 高規格救急自動車を配備（更新）
- 4月 消防救急デジタル無線電波伝搬調査
- 11月 中分団特設部に消防ポンプ自動車（CD－I型）を配備（更新）

2013年（平成25年）

- 1月 消防救急デジタル無線基本・実施設計
- 3月 小野市防災センター起工
- 7月 軽四資機材積載車を配備（更新）
- 11月 東分団特設部に消防ポンプ自動車（CD－I型）を配備（更新）

2014年（平成26年）

- 4月 小野市防災センター開設
- 4月 消防救急デジタル無線整備
- 4月 臨時北部救急拠点開設

2015年（平成27年）

- 2月 救助工作車（II型）を配備(更新)
- 4月 小野市消防本部発足50周年
- 12月 総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸与を受ける。

2016年（平成28年）

- 3月 小野市消防本部発足50周年誌「小野消防の軌跡」発刊
- 5月 35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配備（更新）
- 9月 災害対応特殊水槽車Ⅱ型を配備（更新）

2017年（平成29年）

- 3月 高規格救急自動車を配備（増車）
- 3月 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配備（更新）

2018年（平成30年）

- 4月 北分署庁舎新築（延324㎡）
- 12月 公益財団法人日本消防協会から防災活動車の寄贈を受ける。

2019年（令和元年）

- 11月 南分署大改修工事

2020年（令和2年）

- 3月 総務省消防庁から救助資器材・小型動力ポンプ搭載多機能車の無償貸与を受ける。
- 3月 国内の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2部勤務から3部勤務体制に移行する。
- 7月 全国に先駆けて、映像通報システム「L I V E 119」の運用を開始する。

2021年（令和3年）

- 1月 高規格救急自動車を配備（更新）

消防応援協定の締結状況

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

締結年月日	内 容
昭和52年 2 月 1 日	陸上自衛隊青野原駐とん地と小野・加東・加西各消防署・団との申し合わせ
平成20年 3 月 5 日(改)	加古川市と消防相互応援に関する協定
平成23年 3 月14日(改)	三木市と消防相互応援に関する協定
平成23年 5 月13日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定
平成25年10月23日(改)	兵庫県広域消防相互応援に関する協定
平成30年 4 月 1 日(改)	山陽自動車道消防相互応援に関する協定

小野市統一防火標語

「消し忘れ 気かけ声かけ たしかめて」

小野市防火ポスター

令和4年募集優秀作品

【小学生の部】



消防長賞



消防団長賞



防火協会長賞

【一般の部】



消防長賞



消防団長賞



防火協会長賞

令和4年版 消防年報

発行年月 令和5年8月

編集発行 小野市消防本部

兵庫県小野市王子町809

電話 (0794) 63-0119

F A X (0794) 63-7199

Eメール：syobo@city.ono.hyogo.jp

HP：<https://www.city.ono.hyogo.jp/ono119/>